

農業委員会サポートシステム 操作研修会 ～目標地図（素案）作成とブラッシュアップ～

操作説明資料⑤

1. 目標地図（素案）作成の事前準備・・・p7

- ① 地域計画名称の登録
- ② 地域計画エリアの作成（任意）
- ③ 目標地図エリアの作成・対象地の設定
- ④ 目標地図素案の名称の登録

2. 目標地図素案の作成（現状、意向の反映）・・・p32

3. 目標地図の素案作成・編集（目標地図編集機能）・・・p37

- ① 受け手予定者の農地を色分けする
- ② 目標地図素案の編集（受け手予定者を個別に設定）
- ③ 目標地図素案の編集（シミュレーションによる自動設定）
- ④ 目標地図素案の編集（作図・メモ）
- ⑤ 目標地図素案の印刷

4. 目標地図の確定・・・p70

5. 目標地図の変更素案・・・p76

- ① 目標地図の確定解除
- ② 目標地図の変更
- ③ 目標地図変更素案の確定

目標地図の素案作成に向けた経過

●農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年5月成立）

＜地域計画の策定（人・農地プランの法定化）＞

① 市町村は、農業者や農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区等の関係機関との協議の場を設け、地域の農業の将来や農地利用の姿について話し合いをする。

【改正基盤法第18条】

→これまで取り組んできた人・農地プランが法定化

② ①を踏まえて、市町村は、地域の将来の農業の在り方、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を定めた「地域計画」を策定する。なお、この目標として、農業を担う者ごとに利用する農用地等を示した地図（目標地図）を作成する。

【改正基盤法第19条及び第20条】

→農業委員会は、出し手・受け手の意向をふまえて目標地図の素案を作成

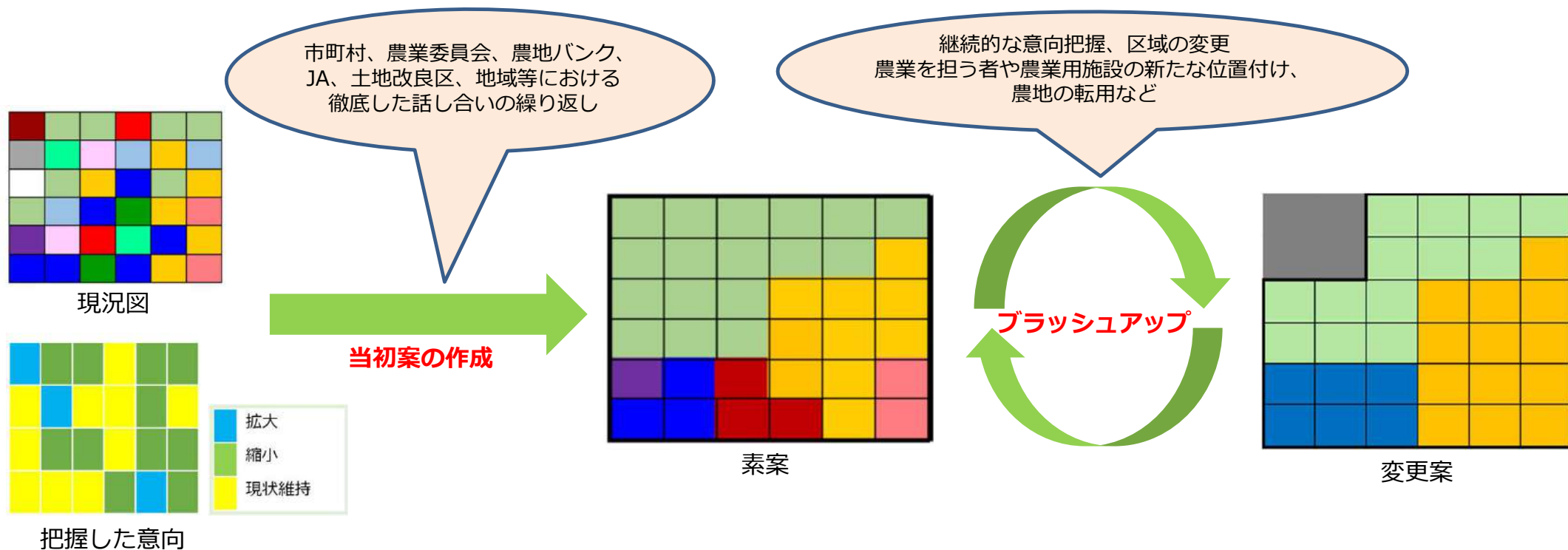
○協議の場での情報提供や目標地図（素案）の作成、利用調整を行っていくため、農業委員会等が把握した出し手・受け手の意向情報のデータベースを令和4年度に構築（全国データベース）。

→農業委員や農地利用最適化推進委員が把握した意向をタブレットで登録できたり、全国データベースで関係機関が情報共有でき、地域の内外から受け手候補を広く探して調整できる（マッチングできる）仕組みを構築。

○農業委員会サポートシステムに目標地図（素案）作成・ブラッシュアップ等が可能となる機能改修を実施。

目標地図の素案作成・ブラッシュアップのイメージ

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会



- 農業委員会が目標地図変更案の作成にあたりどこまで関与するかは、実態を踏まえて市町村と協議すること。
 - 農業委員会では意向が未確認である者や調整がつかない農地を継続的に意向把握し、それを地図に落とし込み変更素案として提示するのか
 - 話し合いの企画、運営等について市町村の農政部局等が中心になって当たる中で素案の精度を上げるか等
- 上記の目標地図作成機能は農業委員会サポートシステムで農業委員会ユーザーと市町村ユーザーそれぞれが利用可能。

農業委員会サポートシステムでの目標地図（素案）作成の操作フロー

1 目標地図作成の事前準備

- ① 地域計画の名称を登録する
→地域計画の名称を登録します。
- ② 地域計画のエリアを設定する
→地図上に地域計画がどの範囲なのか、エリア設定を行えます。
- ③ 目標地図のエリアを設定する
→地図上に目標地図のエリア設定や対象地の選択を行えます。
- ④ 目標地図素案の名称を登録する
→作成した目標地図のエリアに素案を作成できます。（複数作成可能）

2 目標地図の素案作成（現状、意向の反映）

- 目標地図エリア内の農地を、現状の情報を元に色分けする
→目標地図のエリア内で現状地図を作成するための色分けや模様分けの設定を行えます。
※現在の耕作者や今後の意向、担い手区分や後継者の有無等

3 目標地図の素案編集

- ① 現況地図の作成・編集
→目標地図エリア内の農地に、現状地図で示した今後の意向情報等をもとに、現在の耕作者のうち、受け手予定者となる者の農地を色分けします。

- ② 手動で受け手予定者を設定する
→どの農地を誰が耕作していくか、手動で設定を行えます。

- ③ 自動（シミュレーション機能）で受け手予定者を設定する
→収集した意向情報をもとに機械的に設定を行えます。

- ④ 作図機能を用いてエリア設定をする
→作図機能を用いて、今後検討のエリアや新規就農エリア等のエリアの設定を行えます。

4 目標地図の確定

- 目標地図の素案を確定する
→作成した素案をもとに協議がなされ、目標地図を確定します。

5 目標地図の変更素案

- ① 目標地図の素案確定を解除する
- ② 目標地図を変更する
- ③ 目標地図変更素案を確定する
→①～③を繰り返し、目標地図をブラッシュアップします。

レイヤの概要

目標地図作成にあたって主に利用するレイヤは以下のとおりです。

レイヤ名	レイヤ概要
地域計画(エリア)	地域計画のエリアを表示するレイヤ 「地域計画」の地域計画エリア作成/編集/削除が可能
目標地図(エリア)	目標地図のエリアを表示するレイヤ 「目標地図」の目標地図エリア作成/編集/削除が可能
目標地図(作図)	目標地図編集機能で作成した作図を表示するレイヤ 印刷の際に作図のみ非表示にすることができる
目標地図(確定)	目標地図編集機能で「決定・公告」となった目標地図を表示するレイヤ
目標地図(素案)	目標地図編集機能で作成中、または作成済みの目標地図の素案を表示するレイヤ 「レイヤー一覧」下部に表示される「目標地図レイヤ」で表示する素案を切り替えることができる
目標地図(現状)	目標地図の対象地を「スタイル(目標地図(現状))」の設定に合わせて色塗りして表示するレイヤ 「レイヤー一覧」下部に表示される「目標地図レイヤ」で表示する素案を切り替えることができる



1 目標地図（素案）作成の事前準備

①地域計画名称の登録

地域計画の名称等を作成（必須）

- 【ワンデスク連携】タブの「地域計画登録」で地域計画の名称等を登録します。
※名称の登録は必須作業となります。

②必要情報を入力
※ 数字、アルファベットを入力する場合は全角のみ

◆地域計画名を登録する場合
①追加ボタンを押し、②の入力欄に計画名を入力後、③更新ボタンをクリック。

◆地域計画名を削除する場合
削除したい地域計画名を選択し、削除ボタン⇒更新ボタン
※すでに地域計画を利用している（地域計画に紐づく目標地図がある）場合は削除不可。

◆地域計画名を修正する場合
修正したい地域計画名を選択し、②の入力欄「計画名」の文言を修正し、更新ボタンをクリック。

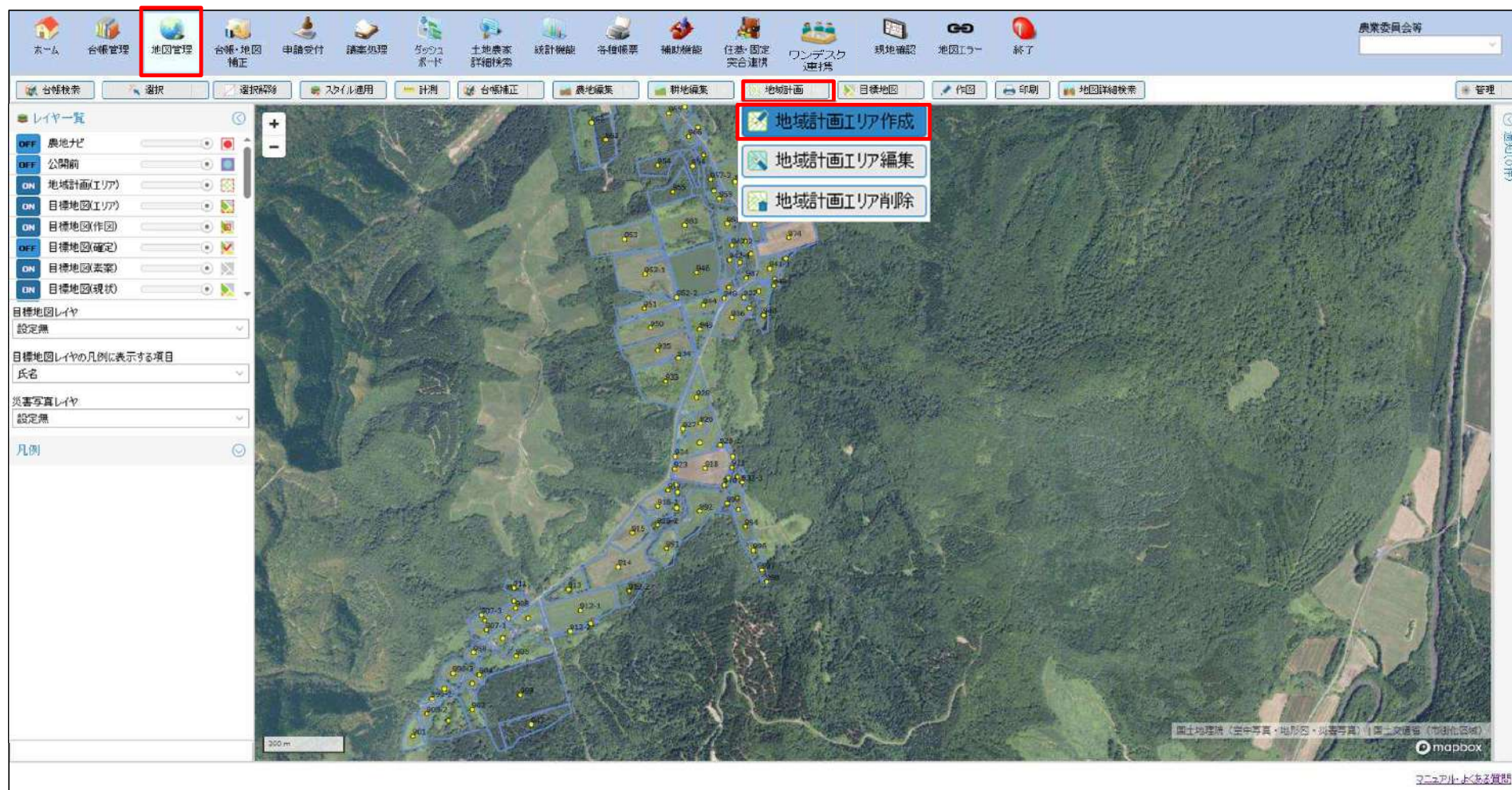
①追加ボタンをクリック

③更新ボタンをクリック

②地域計画エリアの作成（任意）

地域計画エリアの作成（任意）

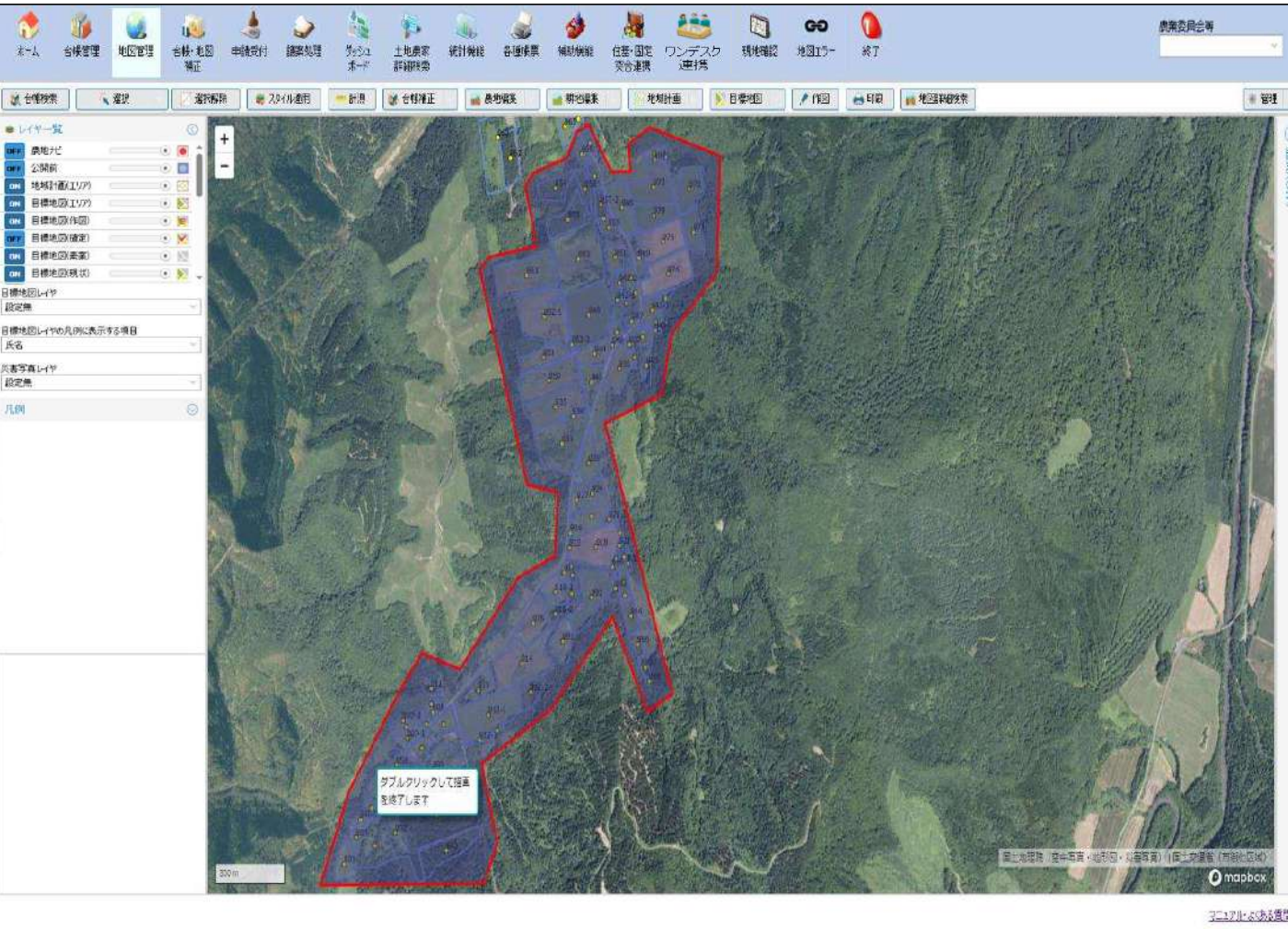
- 地域計画に紐づく地域計画エリアの作成（線引き）が可能です。
- 地図管理画面の「地域計画－地域計画エリア作成」から行います
- 地域計画のエリアと目標地図のエリアが同一である場合などは、地域計画エリアの作成は必須ではありません。



地域計画エリアの作成（任意）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

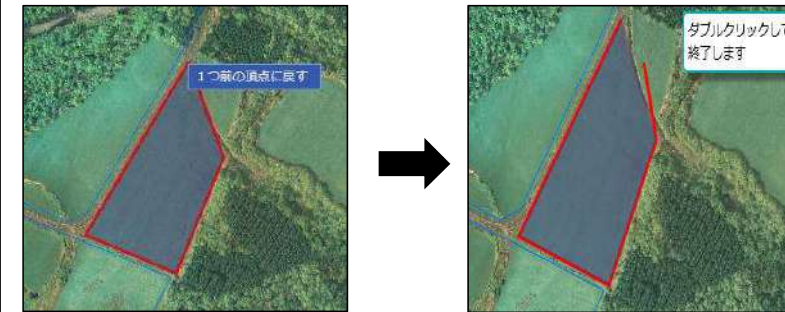
- 地域計画エリアの作図中の画面です



☆作図の方法

・地図画面上で、左クリックすると頂点が作成されます。次の頂点としたい地点で左クリックすることで、次の頂点が作成されます。この操作を繰り返して、任意の位置で頂点を作成し、最後にダブルクリックすると作図が完了し、エリアが作成されます。

・線を引き直したい場合は、右クリックすることで「1つ前の頂点に戻る」の表示が現れるので、この文字をクリックすることで、一つ前の頂点から操作をやり直すことができます。



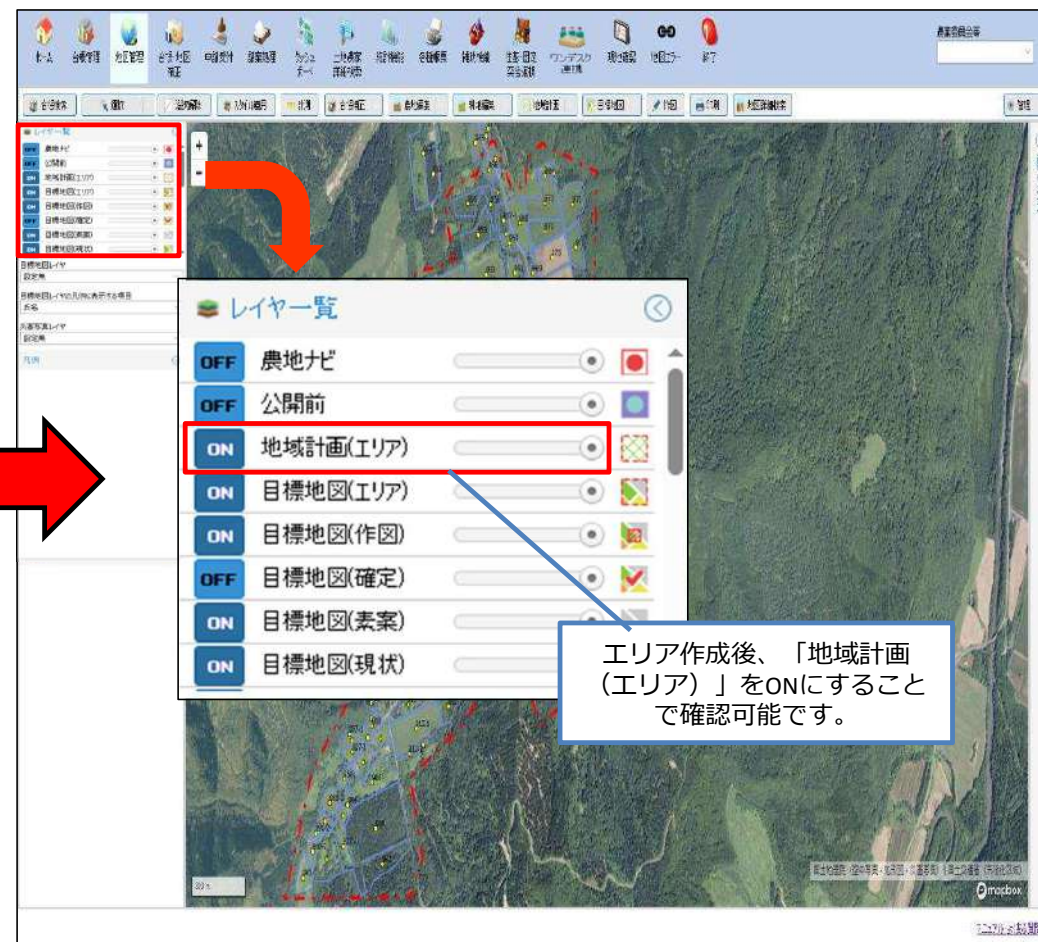
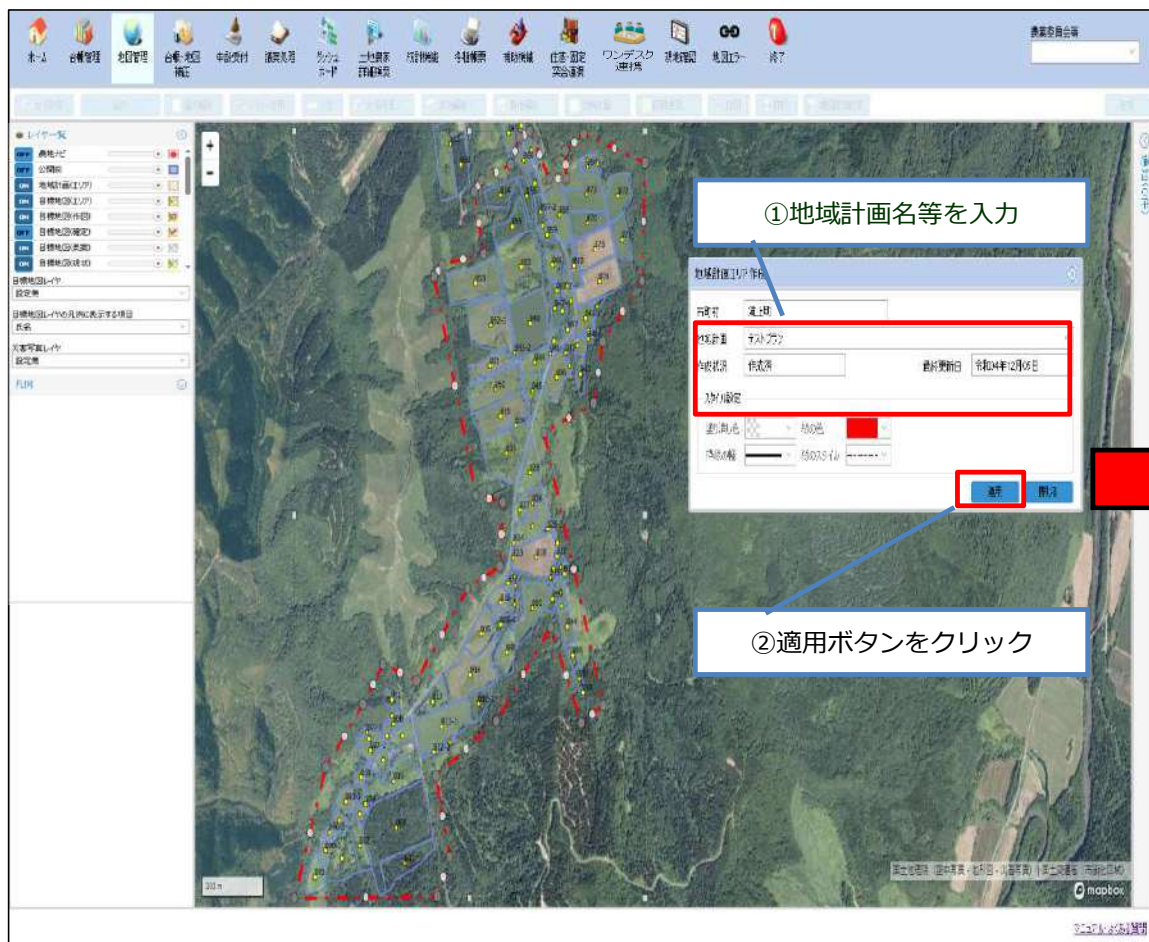
・作図中に画面の拡大/縮小をする場合
→マウスのカーソルで変更

・作図中に画面を上下左右に移動したい場合
→キーボードの十字キーで移動

地域計画エリアの作成（任意）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- ・ 地域計画エリアを作成すると、デフォルトで赤色点線のスタイルとなります（スタイルの修正も可能）
- ・ エリア作成後、p9で設定した地域計画名と紐づけることが可能です。
- ・ 適用ボタンをクリックすると作成が完了します。



③目標地図エリアの作成・対象地の設定

目標地図エリアの作成（自動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 予め作成した地域計画に紐づく目標地図のエリアを作成します。
 - 大字や地区による自動線引き機能を使用する場合は、地図管理の「目標地図タブ」の「目標地図エリア作成（自動）」を選択します。
- ※ なお、目標地図を作成する上で目標地図エリアの作成は必須となります

The screenshot displays the 'Target Map' (目標地図) tab selected in the top navigation bar. Below it, the 'Target Map Area Creation (Automatic)' (目標地図エリア作成(自動)) button is highlighted. A callout box states: 「目標地図エリア作成（自動）」ボタンをクリックすると、目標地図エリア作成（自動）ダイアログが表示される。 The left sidebar shows the 'Layer List' (レイヤー一覧) with various map layers like 'Agricultural Land' (農地ナビ) and 'Public Open Space' (公開前). The main map area shows a satellite view with blue-outlined target areas and yellow markers. A scale bar indicates 200m.

目標地図エリアの作成（自動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

「大字小字」または「地区」で農地を抽出し、それを取り囲むように目標地図エリアを自動作成できます。

目標地図エリア作成(自動)

抽出条件

選択するレイヤ 農地区画

☒ 大字小字 ☐ 地区

対象地の結合範囲 20 [m]
(1 ~ 1000)

☐ 登録する対象地を農振法「農振地域・農用地区域」のみとする

抽出条件

③目標地図エリアの対象地を農振・農用地に限定する場合はチェックを入れます。

	市町村コード↑	大字コード↑	大字名
1	18491	0	設定無
2	18491	1	白石中央
3	18491	2	北白石
4	18491	3	南白石
5	18491	4	東白石
6	18491	5	西白石
7	18491	6	白石原野
8	18491	7	白石山
9	18491	8	白石沢
10	18491	90	町外
11	18491	501	北海
12	18491	502	春森
13	18491	503	岩手
14	18491	504	宮城

①どのポリゴン（区画）に基づき農地を抽出するのか選択します。

④「大字小字」または「地区」を選択。両方選択はできません。

追加 >>

<< 削除

②エリアを自動作成する際のポリゴンからの拡張幅を設定します。初期値は20mです。1 ~ 1,000mで設定できます。

全選択 全解除

実行 閉じる

目標地図エリアの作成（自動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

「大字小字」または「地区」を選択し、抽出条件を決めます。

目標地図エリア作成(自動)

抽出条件

選択するレイヤ 農地区画 対象地の結合範囲 20 [m] ☐ 登録する対象地を農振法「農振地域・農用地区域」のみとする
(1 ~ 1000)

☒ 大字小字 ☐ 地区

抽出条件

	市町村コード	大字コード	大字名
1	18491	0	設定無
2	18491	1	白石中央
3	18491	2	北白石
4	18491	3	南白石
5	18491	4	東白石
6	18491	5	西白石
7	18491	6	白石原野
8	18491	7	白石山
9	18491	8	白石沢
10	18491	90	町外
11	18491	501	北海
12	18491	502	青森
13	18491	503	岩手
14	18491	504	宮城

①「大字小字」を選択した場合、まずは抽出したい大字を選択

	選択	小字コード	小字名
1	☒	0	設定無
2	☒	1	1丁目
3	☒	2	2丁目
4	☒	3	3丁目
5	☒	4	4丁目
6	☒	5	5丁目
7	☒	6	6丁目

②抽出したい小字を選択

追加 >> << 削除

③「追加」をクリック

全選択 全解除

「全選択」をクリックすると、全ての小字にチェックが付きます

実行 閉じる

目標地図エリアの作成（自動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

抽出条件の指定を終えたら、「実行」をクリックします。

目標地図エリア作成(自動)

抽出条件

選択するレイヤ 農地区画 対象地の結合範囲 20 [m] ☐ 登録する対象地を農振法「農振地域・農用地区域」のみとする

☒ 大字小字 ☐ 地区

	市町村コード↑	大字コード↑	大字名
1	18491	0	設定無
2	18491	1	白石中央
3	18491	2	北白石
4	18491	3	南白石
5	18491	4	東白石
6	18491	5	西白石
7	18491	6	白石原野
8	18491	7	白石山
9	18491	8	白石沢
10	18491	90	町外
11	18491	501	北海
12	18491	502	青森
13	18491	503	岩手
14	18491	504	宮城

追加 >>

<< 削除

選択	小字コード	小字名
----	-------	-----

全選択

全解除

抽出条件

	市町村コード↑	大字コード↑	大字名	小字コード↑	小字名
1	18491	1	白石中央	0	設定無
2	18491	1	白石中央	1	1丁目
3	18491	1	白石中央	2	2丁目
4	18491	1	白石中央	3	3丁目
5	18491	1	白石中央	4	4丁目
6	18491	1	白石中央	5	5丁目
7	18491	1	白石中央	6	6丁目

抽出条件の上限は200個

農業委員会サポートシステム

? 目標地図エリアの自動作成を行います。よろしいですか?

実行

閉じる

OK

キャンセル

「OK」ボタンをクリック

目標地図エリアの作成（自動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

地図画面に遷移し、自動作成された目標地図エリアポリゴンが表示されます。
地域計画名を選択して目標地図名を入力し、適用をクリックしてエリア作成は完了です。

目標地図エリア作成

①p.10で作成した該当地域計画名称を選択

地域計画
市町村 農業市
地域計画 設定無
作成状況 最終更新日

目標地図
目標地図名

対象地選択
選択するレイヤ 農地区画 選択 選択解除 エリアに含める

スタイル設定
塗り潰し色 線の色
枠線の幅 線のスタイル

②目標地図の名前を設定。

適用 閉じる

③必要に応じてエリアの線の色等も変更可能。

④「適用」ボタンをクリック

200 m

(補足) 目標地図エリアの作成 (自動)

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

自動作成の結果、下図のように目標地図エリアを一つのエリアで結合できないことがあります。離れた場所にもう一つエリアができ、赤色で強調表示されます。この場合、①「対象地の結合範囲」の値を大きくする(※)、あるいは、②目標地図エリアをクリックして手動でエリアを調整する等の対応が考えられますが、そのままエリア作成を完了することもできます。

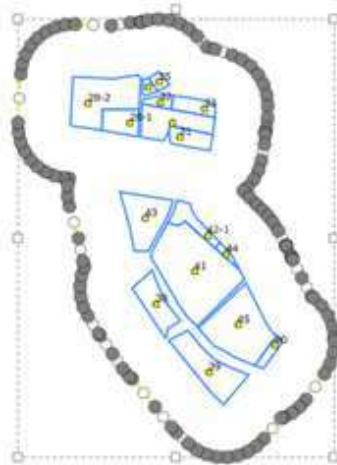
農業委員会サポートシステム



自動作成された目標地図エリアポリゴンに結合できなかったポリゴンが存在します。(1件)
結合できなかったポリゴンは赤色の枠線で表示されているので自動作成された目標地図エリアポリゴンの確認を行ってください。

OK

離れた場所にもう一つ
エリアが作成されている



目標地図エリア作成

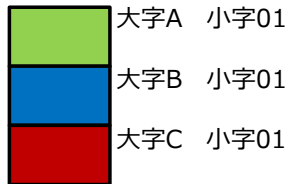
地図計画		
市町村	農業市	
地域計画	設定無	
作成状況		最終更新日
目標地図		
目標地図名		
対象地選択		
選択するレイヤ	農地区画	選択 選択解除
スタイル設定		
塗り潰し色	緑の色	
枠線の幅	枠のスタイル	

適用 閉じる

(※) こうした事象は飛び地や道路で農地が分断されている場合に起こり、農地のポリゴンからの拡張幅である「対象地の結合範囲」の値(p16②参照)を小さくするほど、起きやすくなります。参考までに次ページにおいて、エリア自動作成の仕組みを掲載します。

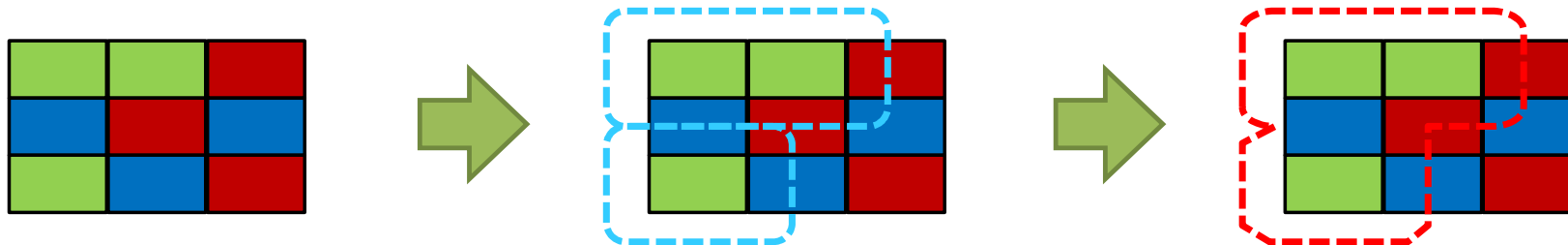
(参考) 対象地の結合範囲の例

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

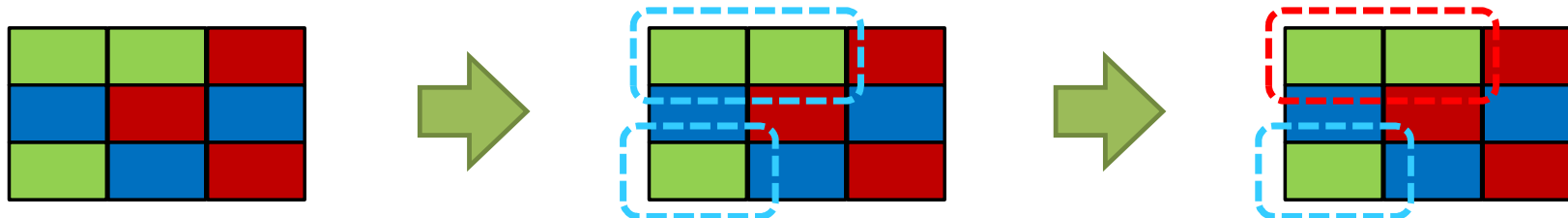


【抽出条件】
・大字小字が「大字A 小字01」 ※緑色のポリゴン

【対象地の結合範囲】が「100m」の場合
拡張したポリゴン同士が結合でき、1つの目標地図エリアポリゴンが作成される。



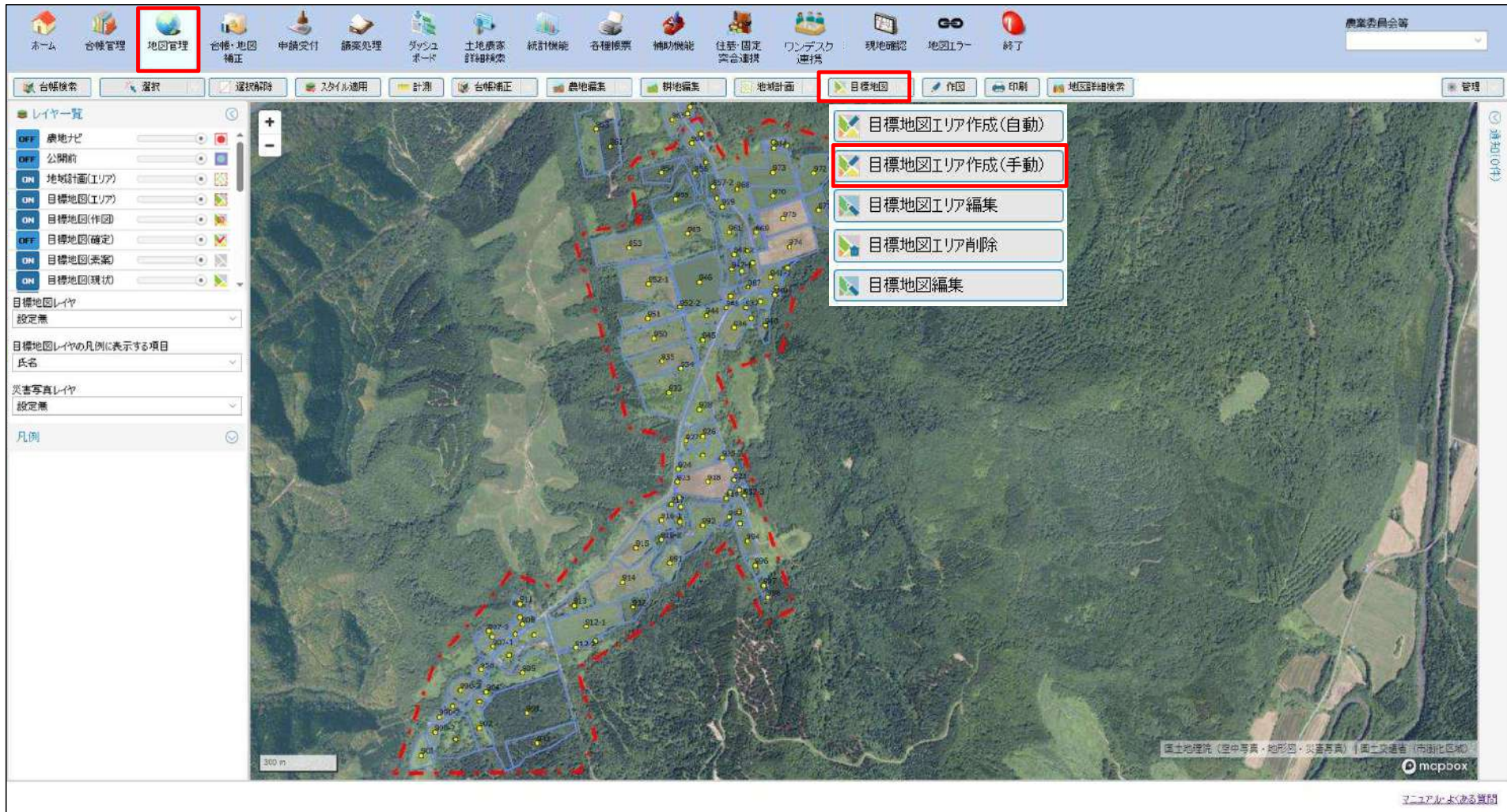
【対象地の結合範囲】が「10m」の場合
拡張したポリゴン同士が結合できず、結合できなかったポリゴンのうち最も大きいポリゴンが目標地図エリアポリゴンとして作成される。



目標地図エリアの作成（手動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

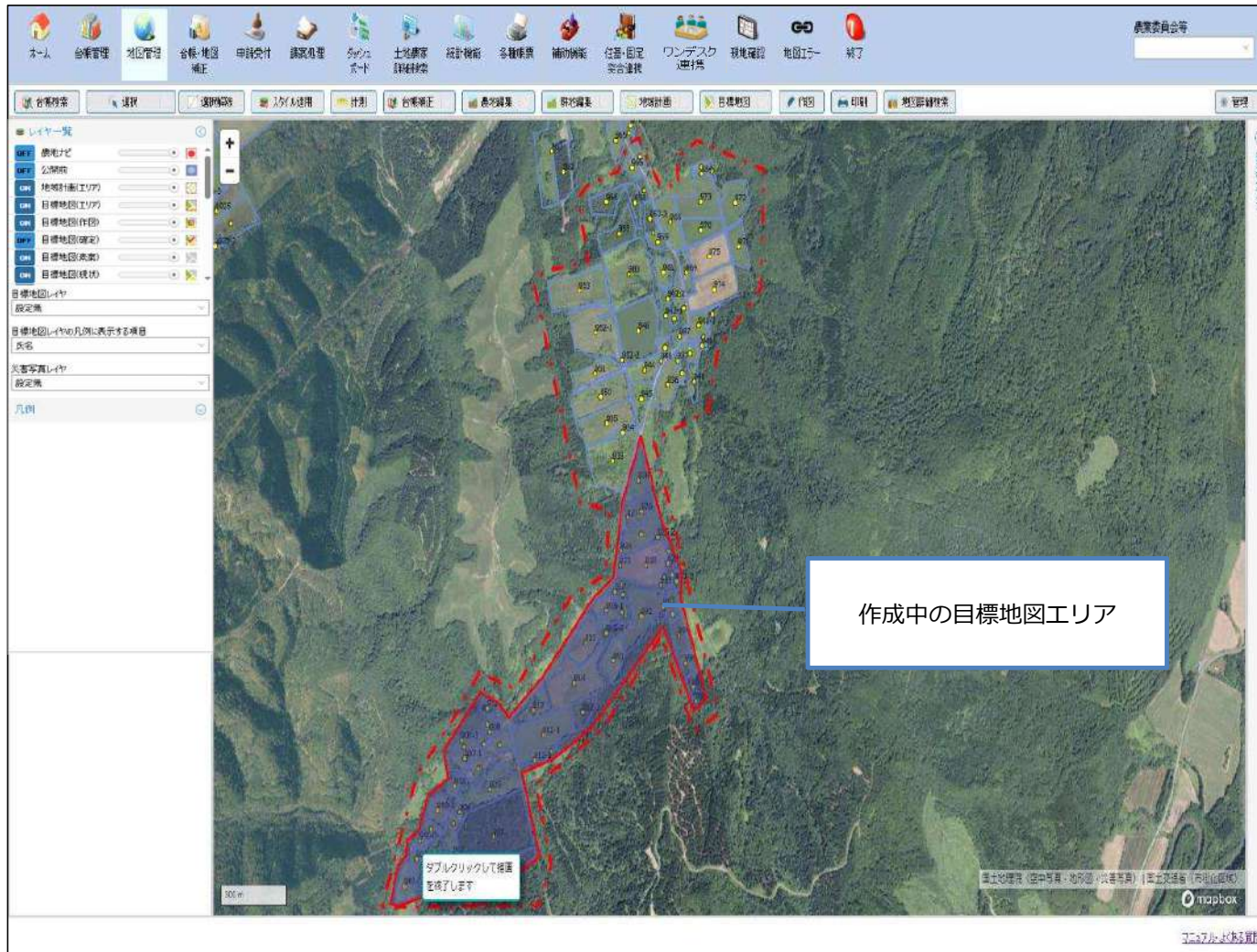
- 目標地図エリアを手動で引く場合は、地図管理の「目標地図タブ」の「目標地図エリア作成（手動）」を選択します。



目標地図エリアの作成（手動）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

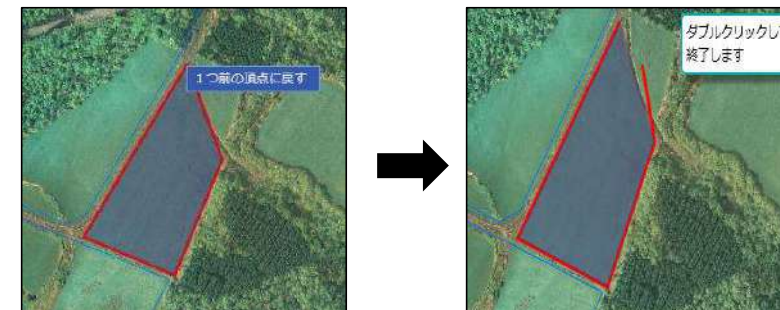
- 目標地図エリアの作図中の画面です。



☆作図の方法

・地図画面上で、左クリックすると頂点が作成されます。次の頂点としたい地点で左クリックすることで、次の頂点を作成されます。この操作を繰り返して、任意の位置で頂点を作成し、最後にダブルクリックすると作図が完了し、エリアが作成されます。

・線を引き直したい場合は、右クリックすることで「1つ前の頂点に戻す」の表示が現れるので、この文字をクリックすることで、一つ前の頂点から操作をやり直すことができます。



・作図中に画面の拡大/縮小をする場合
→マウスのカーソルで変更

・作図中に画面を上下左右に移動したい場合
→キーボードの十字キーで移動

目標地図エリアの作成（手動）

- 地域計画エリアを作成すると、デフォルトで黄色点線のスタイルとなります（スタイルの修正も可能）。
- エリア作成後、目標地図の名前を入力し設定します。

①p10で作成した該当地域計画名称を選択

②目標地図の名前を設定。

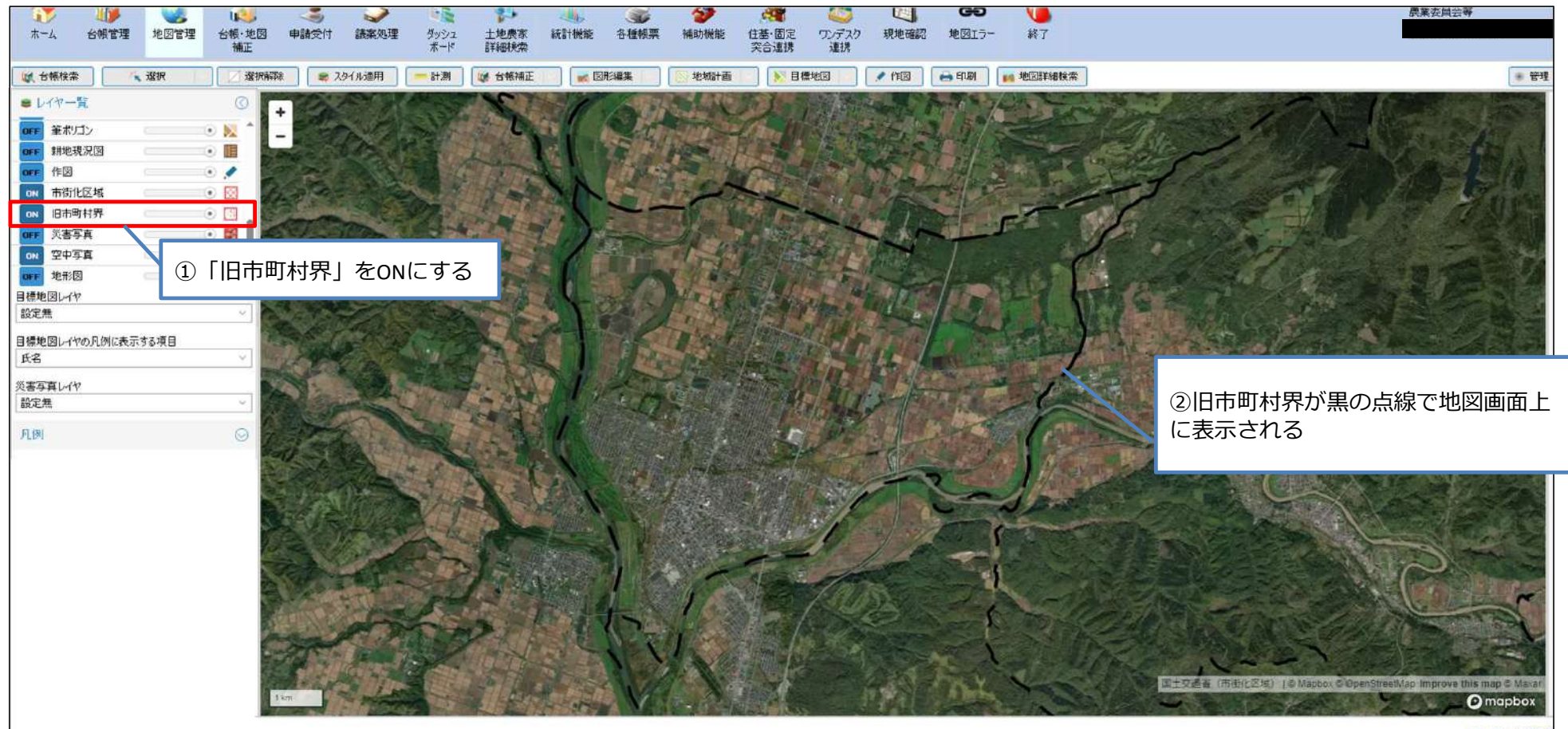
③必要に応じてエリアの線の色等も変更可能。

④適用ボタンをクリック

作成した目標地図エリアは、レイヤー一覧の「目標地図（エリア）」をONにすることで表示されます。

(補足) 地域計画エリア、目標地図エリアの作成について

- 地域計画エリアや目標地図エリアの作成にあたっては、レイヤー一覧の「旧市町村界」や、農地区画や紐づけ地図（区画）に大字や小字、地区コードで色分けを行うことで、線を引く大まかな地域の参考とすることができます。
- それぞれ、地域計画エリアや目標地図エリアのレイヤとは別で管理されているため、地図画面上で各レイヤを重ね合わせて利用できます。



(補足) 地域計画エリア、目標地図エリアの作成について

- 地域計画エリアや目標地図エリアの作成にあたっては、レイヤー一覧の「旧市町村界」や、農地区画や紐づけ地図（区画）に大字や小字、地区コードで色分けを行うことで、線を引く大まかな地域の参考とすることができます。
- それぞれ、地域計画エリアや目標地図エリアのレイヤとは別で管理されているため、地図画面上で各レイヤを重ね合わせて利用できます。

The screenshot displays the 'スタイル適用' (Style Application) window in the system. The main map area shows a rural landscape with various colored overlays representing different planning areas. A red arrow points from the 'スタイル適用' button in the top toolbar to the 'スタイル設定(農地区画)' (Style Setting (Agricultural Area)) dialog box. This dialog box contains a table for defining colors for different areas.

大字名	塗り直し色	枠線の色	枠線の幅
白石中央	赤	青	
東白石	青	赤	
西白石	緑	緑	
南白石	黄	黄	

Below the table, there are buttons for '個別設定' (Individual Setting), '一括設定' (Batch Setting), and '全解除' (All Clear). At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply) and '閉じる' (Close).

On the left side, the 'レイヤー一覧' (Layer List) shows various layers, including '農地区画' (Agricultural Area) and '紐づけ地図' (Linked Map). A red box highlights the '農地' (Farmland) legend, which lists the following areas with their corresponding colors:

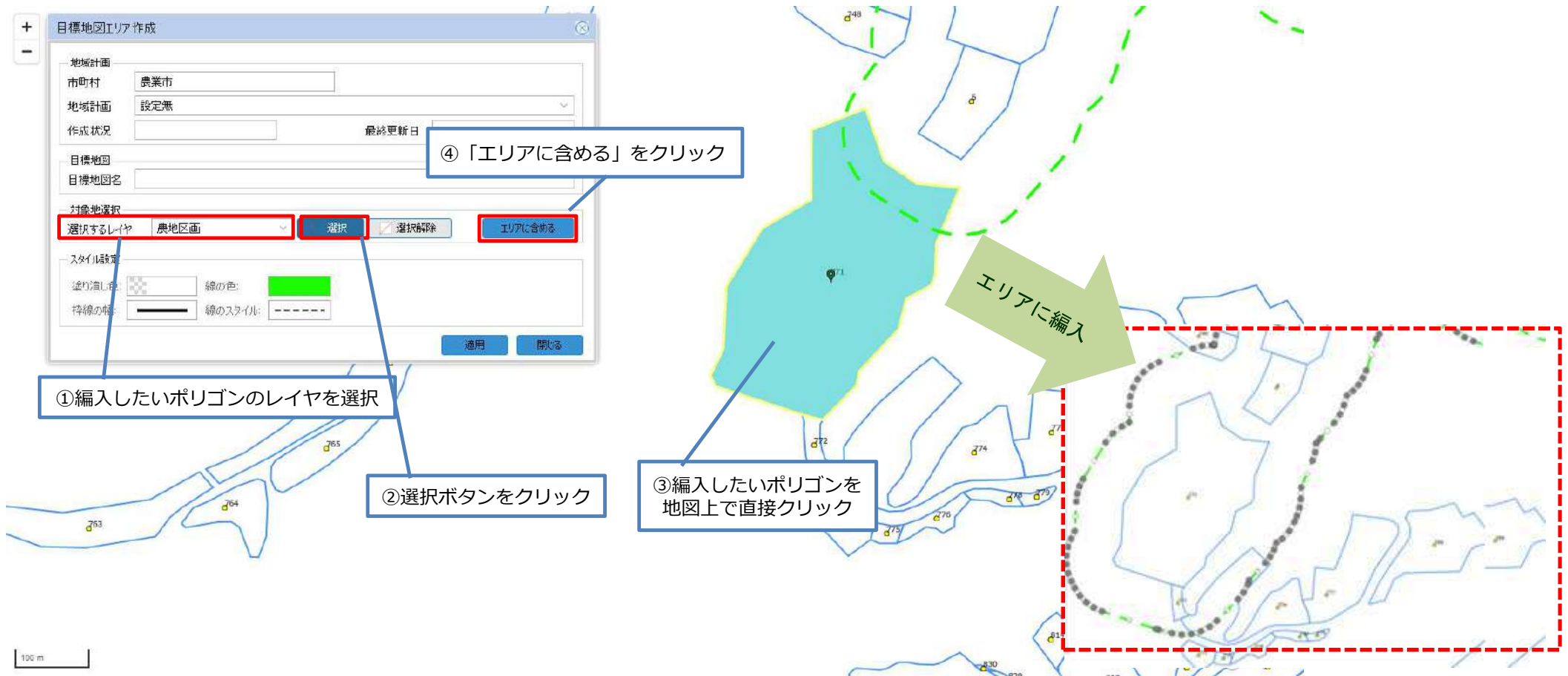
- 白石中央 (Red)
- 東白石 (Blue)
- 西白石 (Green)
- 南白石 (Yellow)
- 北白石 (Orange)

A blue callout box at the bottom left states: 「スタイル適用で農地区画や紐づけ地図（区画）に地域ごとの色塗りを行えば、地図画面上に地域ごとに色分けがされます。」 (By applying styles to agricultural areas or linked maps (districts) with region-specific coloring, the map screen will be color-coded by region.)

(参考) 目標地図エリアへのポリゴン編入

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図エリアを作成後、目標地図エリア付近のポリゴンを選択して目標地図エリアに後から編入することもできます。
- ただし、目標地図エリアから100m以上離れたポリゴンは編入できません。



対象地の設定

- 作成した目標地図エリアの対象地を設定します。
- まずは対象地を設定したい目標地図を選択し、「目標地図エリア編集」タブを表示させます。
※ 目標地図エリア初回作成時には必ず対象地の設定が必要です。

①「選択」をクリック

②「個別・複数範囲選択」をクリック

③「目標地図エリア」をクリック

④対象地を設定したい目標地図レイヤの内側をクリック

⑤「目標地図」をクリック

⑥「目標地図エリア編集」をクリック

対象地の設定

- 「目標地図エリア編集」の「対象地選択」タブで、作成した目標地図エリアの対象地を設定します。
- ※ 土地情報は「素案を作成した時点の情報」として保存され、以降に台帳情報を参照する場合も常に「素案を作成した時点の情報」を参照します。

①選択するレイヤを「農地区画」「紐づけ地図」「区分地図」「筆ポリゴン」から選択

目標地図エリア編集

地域計画: デモ地域計画

エリア編集 対象地選択

対象地選択

選択するレイヤ: 農地区画

選択解除

対象地検索

エリア内選択

選択する属性: 台帳と地図の紐づき状態

紐づかない

対象地選択

対象地一覧

地図

行削除

全選択

全解除

	選択	地図種別	台帳と地図の紐づき状態	市町村名	大字
1	☒	農地地図	紐づかない	デモ049市	白石沢
2	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
3	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
4	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
5	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
6	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
7	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
8	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
9	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
10	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
11	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
12	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
13	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
14	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
15	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
16	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
17	☒	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢

適用

開じる

③選択した農地は「対象地一覧」に表示される。対象地として設定したい土地にチェックが付いているか確認する。

②以下のいずれかの方法により対象地を選択

◆地図画面上で選択

「選択」ボタン→「地図」ボタンの順にクリックし、地図画面上のポリゴンを選択する。

◆台帳から検索して選択

「対象地検索」ボタンをクリックして対象地を検索し、選択したい農地にチェックを入れて「実行」ボタンをクリック。

◆目標地図エリア内のポリゴンから選択

「エリア内選択」ボタンをクリックすると、目標地図エリアの範囲内の農地（エリアの境界内に一部でも含まれる農地）がすべて選択される。

※目標地図エリア外の土地を含める場合は、③の操作後に個別に①または②の操作を行う

④対象地の選択が終わったら、「適用」をクリックして保存する。

④目標地図素案の名称の登録

目標地図素案の名称の登録

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図エリア、目標地図の対象地を登録が完了したら目標地図の素案が作成可能になります。
- まずは、「目標地図」タブの「目標地図編集」で目標地図の素案の名称を登録します。
- 一つの目標地図エリアに対して、複数の素案を作成することができます。意向情報を踏まえ、素案を複数作成・管理し、協議の場で確認できるようにします。

The screenshot shows the 'Target Map Management' (目標地図編集) window. The interface includes a map on the left, a sidebar with layer controls, and a main panel with various tabs and a table for managing proposals.

① 目標地図編集をクリック
Click the '目標地図編集' (Edit Target Map) button in the top toolbar.

② 地域計画名、目標地図名を選択
Select the '地域計画' (Regional Plan) and '目標地図' (Target Map) from the dropdown menus.

③ 「素案管理」タブを選択
Click the '素案管理' (Proposal Management) tab in the main panel.

④ +ボタンをクリックして、目標地図素案名の行を追加する
Click the '+' button to add a new row for the target map proposal name.

⑤ 素案名を入力
Enter the proposal name in the '新しい素案名' (New Proposal Name) field.

⑥ 適用をクリックして素案名を登録
Click the '適用' (Apply) button to register the proposal name.

Additional Information:

- 作成した素案の色分け状況等はレイヤー覧の「目標地図(素案)」をONにすると表示される (The color-coding of created proposals is displayed when 'Target Map (Proposal)' is turned ON in the layer list).
- 複数の素案を作成している場合は、ここから地図上に表示したい素案を選択できる。 (If multiple proposals are created, you can select the one you want to display on the map from here).
- ※作成した素案名を削除する場合は選択のチェック欄を入れ、ゴミ箱ボタンをクリック。作成途中でも削除可能。素案確定状態 (p66) のものは削除不可。 (To delete a created proposal name, check the checkbox and click the trash icon. Deletion is possible even during creation. Names in the 'Proposal Confirmation' status (p66) cannot be deleted).

2 目標地図素案の作成（現状、意向の反映）

目標地図素案の作成

- 「1-③目標地図エリアの作成・対象地の設定 (p15~29)」が完了すると、目標地図の対象地のみに色分け・模様分けすることが可能になります。
- 「管理」－「スタイル設定」－「目標地図(現状)」で色分け、模様分けの設定を行います。

①「色分け(塗り)」か「色分け(模様)」を選択

②+ボタンをクリックすると、条件設定の行が追加される。追加された行をダブルクリックし、色分けの条件名を入力する。作成した条件設定を削除したい場合はゴミ箱ボタンをクリック。

③「色分けの基準となる項目」欄で、色分したい条件項目を選択する。選択する際には「項目の絞り込み」欄で、大まかな項目の絞り込みを行うことができる。

色分けの基準となる項目例

今後の経営の意向
今後の経営の意向
意向の実施時期
売買(拡張方法)
賃貸借(拡張方法)
使用貸借(拡張方法)
経営受委託(拡張方法)
農作業受委託(拡張方法)
希望期間
後継ぎ(ワンデスク)

項目の絞り込み例

ワンデスク意向調査(農家/法人)
絞り込みなし
所在情報
土地情報
所有者情報
耕作者情報
賃借情報
ワンデスク意向調査(農家/法人)
ワンデスク意向調査(農地情報)
ワンデスク意向調査(その他)
利用状況調査/意向調査
年齢層
促進計画案
土地所有者

目標地図素案の作成

- ここでは、意向把握項目の「今後の経営の意向」で色分けを行います
- 個別設定や模様分けの適用も行いたい場合は合わせて登録します（模様の設定方法の流れは同様）

① +ボタンをクリックし、地図上に色分けする条件の行を追加する。

② 追加された行の空欄部分をダブルクリックし、色分けしたい条件を選択する。
※一部の項目については直接入力する。

また、塗り潰し色や枠線の色も設定可能。
設定した項目を削除する場合は×ボタンをクリック。

③ 条件設定後、適用ボタンをクリック。

今後の経営の意向	塗り潰し色	枠線の色	枠線の幅
拡大	青	青	1px
規模縮小(離農含む)	赤	赤	1px
現状維持	緑	緑	1px

拡大
設定無
拡大
現状維持
規模縮小(離農含む)
経営移譲(移譲先が決まっている)
その他

適用 閉じる

目標地図素案の作成

- 目標地図（現状）のスタイル設定を登録したので、そのスタイルを地図に適用します。

レイヤー一覧の「目標地図（現状）」をONにすることで、色分けした地図を表示できます。

①「スタイル適用」の「目標地図（現状）」タブを選択し、色分け・模様分けしたい条件を選択。

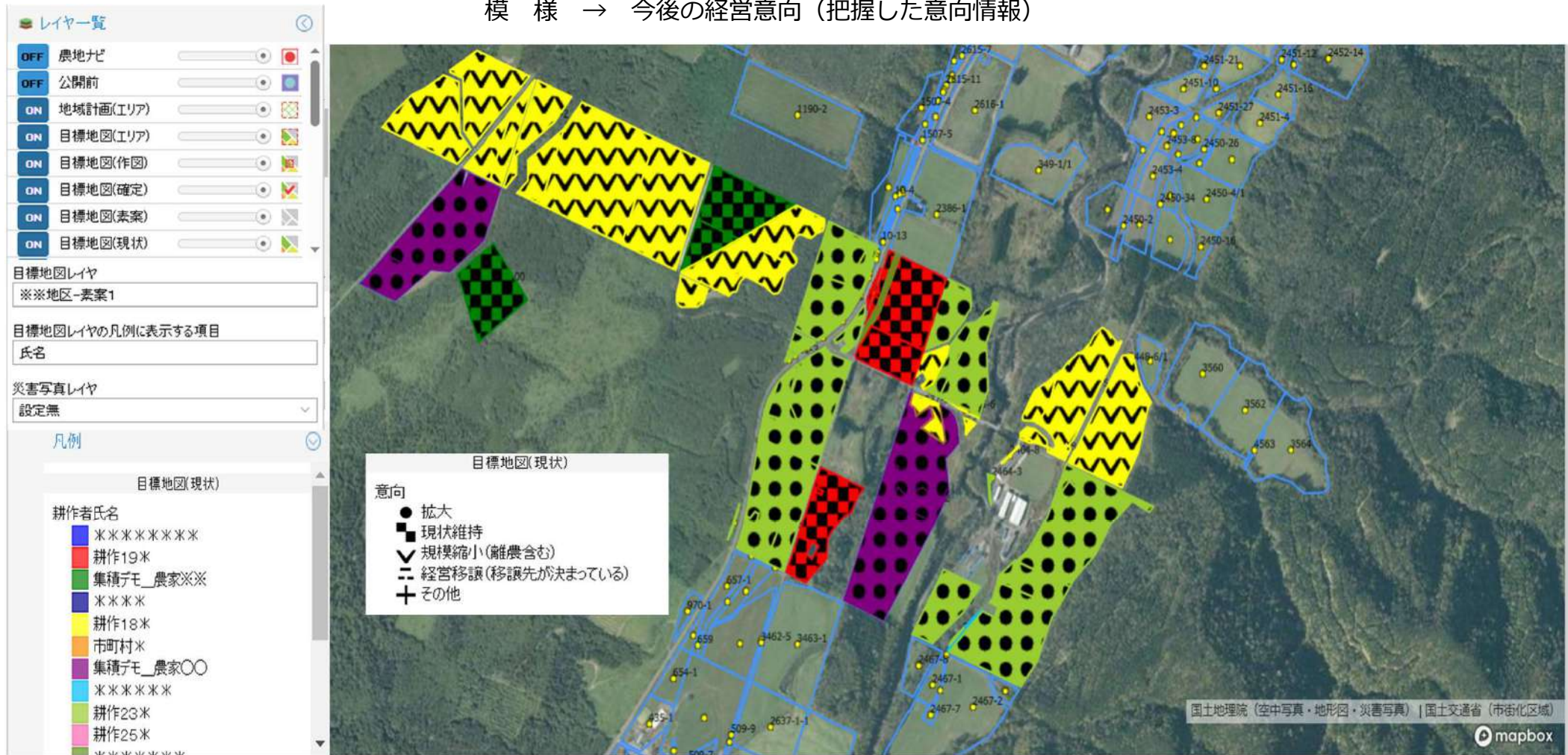
②選択後、「適用」をクリック。

凡例欄に、色分けの条件が表示されます。

(参考) 目標地図素案の作成

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 下図は目標地図（現状）レイヤで
色分け → 現在の耕作者（農地台帳情報）
模様 → 今後の経営意向（把握した意向情報）
でスタイル適用した地図の例です。



3 目標地図の素案作成・編集（目標地図編集機能）

①受け手予定者の農地を色分けする

目標地図素案の編集

- 「1-③目標地図エリアの作成・対象地の設定 (p15~29)」及び「1-④目標地図素案の名称の登録 (p31)」が完了したら、「目標地図」-「目標地図編集」タブを開き目標地図の素案を編集します。
- 目標地図編集画面の上部にて対象となる地域計画、目標地図、素案を選択します。
※目標地図の素案を複数作成した場合でも、選択した素案のみが編集されます(素案ごとに状態を管理します)

編集をしたい地域計画、目標地図、素案名を選択

目標地図編集画面の「目標地図」タブでは、上部に目標地図内の対象地が一覧で表示されます
※目標地図の素案を作成した時点の対象地情報が表示される

下部に、目標地図内の耕作者が表示されます
(なにも編集を行っていない状態では、現在の耕作者が表示される)

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90

選択	素案を担う者	耕作者	担い手等の区分	塗料用色	線の色	緑色の幅	現況面積集計 (案件前)
☐	☐	受入 盛雄					414355.34㎡

目標地図素案の編集

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 「目標地図編集」の「目標地図」タブでは、目標地図の素案ごとに対象地に「目標地図の耕作者（受け手予定者）」を登録できます。
- 耕作者一覧に表示されている耕作者のうち、現状地図（「目標地図（現状）」レイヤ）で「現状維持」、「規模拡大」等の意向を示している耕作者（=目標地図内の耕作者（受け手予定者））について、「農業を担う者」のチェック欄にチェックをつけることで、「目標地図（素案）」レイヤ上に、当該耕作者の耕作地に色が塗られます。

The screenshot shows the 'Target Map Draft Editing' (目標地図編集) window. The interface includes a map on the left, a layer list on the top left, and a settings panel on the right. A yellow arrow points from the 'Target Map Draft' (目標地図素案) layer in the list to the map area where a blue-shaded region is visible. Another yellow arrow points from the 'Target Map Draft' layer to the 'Target Map Draft' tab in the settings panel.

③ 当該耕作者の耕作地に色が塗られる

目標地図編集で塗った色は、レイヤー一覧の「目標地図（素案）」をONにすると表示されます。

① 絞り込みで任意の条件を設定する

② 「農業を担う者」のチェック欄にチェックを ※「全選択」ボタンを押下すると、全てにチェックが付く

※ここで塗られる色は、2 目標地図素案の作成（現状、意向の反映）（p33～36）で設定した「目標地図（現状）」とは連動しない。現状地図で設定した色と同じ色を使いたい場合は、手動で設定してください。

②目標地図素案の編集（受け手予定者を個別に設定）

目標地図素案の編集（受け手予定者に渡したい農地を選択する）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- ここからは、予め受け手予定者がある程度決まっている場合の手順となります。
- 地図画面上または「対象地選択・一括設定」に表示されている目標地図の対象地一覧から、受け手予定者に渡したい農地を選択します。

今回は黄色○の中を受け手予定者の対象予定地とする。

◆対象地一覧から選択する場合
「選択」のチェック欄に直接、チェックを入れる。

◆地図から選択する場合
「目標地図」が選択されていることを確認し、「選択」ボタンから選択方法を押下した上で、地図画面上から農地を選択する。
→対象地一覧のチェック欄にチェックが入る。
※ドラッグして範囲選択、Shiftキーを押しながらクリックすることで複数選択できます。

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本数
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90

地図から選択 目標地図 選択

設定項目 目標地図の耕作者(受け手予定者) 内容

目標地図内の耕作者

選択	農業を担う者	耕作者	担い手等の区分	塗り直し色	線の色	枠線の幅	現在面積集計 (実行前)
☐	受入 盛雄						414599.34㎡

目標地図素案の編集（選択した農地に受け手予定者を設定する）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 設定項目で「**目標地図の耕作者（受け手予定者）**」を選択し、受け手予定者を「名簿」ボタンから検索もしくは目標地図内の耕作者から直接選択して、「内容」欄に表示させます。
- 受け手予定者を選択し終わったら、「一括設定」ボタンをクリックします。

目標地図編集

地域計画: テストプラン
 目標地図: 目標地図サンプル
 素案: 素案サンプル1

対象地選択一括設定
 (任意) 画素作成 詳細設定 クリア 地図 全選択 全解除

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	筆界区分	本
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90

地図から選択 目標地図 選択 選択解除

設定項目: 目標地図の耕作者(受け手予定者) 内容: ミルク牧場 名簿 一括設定

目標地図内の耕作者
 土地選択 耕作権選択 設定集 全選択 全解除

選択	農業を担う者	耕作権	担い手の区分	塗りの色	緑の色	耕種の色	現況面積集計 (実行前)
☐	☒ 受入 露雄						414399.34 m ²

適用 閉じる

①設定項目を「目標地図の耕作者（受け手予定者）」に設定。

②「名簿」ボタンをクリックして台帳から受け手予定者を検索し「選択」をクリック。
※今回は「ミルク牧場」

③「一括設定」をクリックし対象地の設定が完了。

②'受け手予定者を耕作者一覧から選択したい場合は、該当者の選択欄にチェックを付けて、「耕作権選択」ボタンをクリック

目標地図素案の編集（選択した農地に受け手予定者を設定する）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図の耕作者（受け手予定者）を設定しました
- 設定を行うと、耕作者一覧に新たに設定した耕作者が追加されます

選択した対象地が設定した受け手予定者の色で塗られる。

目標地図編集

地域計画: デストプラン
目標地図: 目標地図サンプル
素案: 素案サンプル1

対象地選択一括設定

新規対象地作成 絞り込み クリア 地図 全選択 全解除

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90
☐	受入 盛雄	白石山			90

地図から選択 目標地図 選択 選択解除

設定項目 目標地図の耕作者(受け手予定者) 内容 名称 一括設定

目標地図内の耕作者

絞り込み 設定値 変更 全解除

選択	農業を担う者	耕作者	担い手等の区分	塗り直し色	線の色	枠線の幅	現在面積集計 (実行前)
☐	☒	受入 盛雄					414396.24㎡
☐	☒	ミルク牧場					0.00㎡

適用 閉じる

追加した受け手予定者が表示される。

※色は165色まで自動で設定され、それを超えると165色を繰り返す仕様。

※変更したい場合は手動で設定する。

※元に戻したい場合は設定前の耕作者を検索し設定する。

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- ホーム
台帳管理
地図管理
台帳・地図補正
申請受付
請求処理
ダッシュボード
土地農家詳細検索
統計機能
各種検索
補助機能
住基・固定資産連携
ワンデスク連携
現地確認
地図エラー
終了

農業委員会等

台帳検索
台帳
台帳更新
台帳印刷
台帳連携
台帳連携
台帳連携
台帳連携
台帳連携

台帳連携

レイヤー一覧

OFF 農地ナビ

OFF 公開前

ON 地域計画(エリア)

ON 目標地図(エリア)

ON 目標地図(作図)

ON 目標地図(確定)

ON 目標地図(素案)

ON 目標地図(現状)

目標地図レイヤ

※※※地区-素案1

目標地図レイヤの凡例に表示する項目

氏名

災害写真レイヤ

設定無

凡例

目標地図(確定)

受入 盛産
 ミルク牧場

目標地図編集

地域計画

テストプラン

目標地図

目標地図(タプル)

素案

素案(タプル)

素案管理

目標地図

シミュレーション設定

シミュレーション実行

作図

メモ

対象地選択一括設定

促進計画実行前

促進計画

クリア

地図

全選択

全削除

選択	排作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本
☐	受入 盛産	白石山			90
☐	受入 盛産	白石山			90
☐	受入 盛産	白石山			90
☐	受入 盛産	白石山			90

地図から選択

目標地図

選択

選択解除

設定項目

目標地図の排作者(受け手予定者)

内容

名簿

一括

目標地図内の排作者

土地選択

排作者選択

絞り込み

農業を担う者

設定無

全選択

全削除

選択	農業を担う者	排作者	担い手等の区分	現況面積集計 (実行前)	現況面積集計 (実行後)	農地バ
☐	☒	受入 盛産		414365.34㎡	354280.34㎡	
☐	☒	ミルク牧場		0.00㎡	60085.00㎡	

適用

開る

左: 受け手
右: 受け手
受入盛産
ミルク牧場
現況面積
※設定前
内で耕作
となる。

左：受け手予定者設定前
右：受け手予定者設定後
受人盛雄は現況面積が減少、
ミルク牧場は設定された分
現況面積が増加
※設定前は目標地図の範囲
内で耕作していないため0
となる。

目標地図素案の編集（受け手予定者がいないため、受け手予定者を設定しない場合）

- 目標地図の範囲内に受け手予定者がいない場合、目標地図の耕作者（受け手予定者）を設定しないことができます。
- 対象地を選択した後に、設定項目「目標地図の耕作者（受け手予定者）」を設定せず（空白にする）、一括設定を行います。

① 受け手予定者を設定しない土地を選択
※今回は地図から選択

② 目標地図の耕作者（受け手予定者）を設定しない（空白にする）
既に設定されている場合は名簿ボタンをクリックし、「未選択」を選択。

③ 一括設定ボタンをクリック。

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本番
☒	受入 盛産	白石山			90+
☒	受入 盛産	白石山			90+
☐	受入 盛産	白石山			90
☒	受入 盛産	白石山			90+

選択	農業を担う者	耕作者	担い手等の区分	現況面積集計 (実行前)	現況面積集計 (実行後)	農地バンクの利
☐	☒	受入 盛産		414366.34㎡	554290.34㎡	
☐	☒	ミルク牧場		0.00㎡	60086.00㎡	

目標地図素案の編集（受け手予定者がいないため、受け手予定者を設定しない場合）

- 目標地図上で「耕作者（受け手予定者）」を未設定（空欄）にします。
- これにより目標地図の色分けは行われず、線の色だけが表示される状態となります。

受け手予定者を設定しないため色がつかない
※色が表示されている場合は、「目標地図（現状）レイヤ」をOFFにする

受入盛雄の現況面積は受け手予定者を設定しなかった対象地分減少する。

選択	農業を担う者	耕作者	担い手の区分	現況面積集計 (実行前)	現況面積集計 (実行後)	農地バ
☐	☒	受入 盛雄		414966.34㎡	216743.34㎡	
☐	☒	ミル牧場		0.00㎡	60096.00㎡	

目標地図素案のコピー方法

- 素案のコピー機能で、作成中の素案を分岐させて複数の素案を作成することができます。
- ※ 素案の作成状況が「素案確定済」もしくは「決定公告済」の場合はコピーすることができません。先にp78に記載の素案の確定解除をしてください。
- ※ 素案の情報は、素案を作成した時点の台帳情報になります。最新の台帳情報に更新する場合は、p88に記載の「台帳情報更新」を実施してください（意向情報に関連する項目は素案を作成した時点ではなく、常に最新の台帳情報が反映されます）。

①コピーを作成したい素案の選択欄にチェックを付ける

②複製ボタンをクリック

③選択した素案のコピーが作成される（ダブルクリックして名称変更もできます）

④「適用」ボタンをクリックして保存する

選択	目標地図 素案名	素案確定	公告済	最終更新日
☐	デモ素案-遠分け無し	☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-現状	☐	☐	令和06年08月02日
☒	デモ素案-将来	☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-将来のコピー	☐	☐	

目標地図素案の編集（目標地図素案の切り替え）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図の素案を複数作成している場合、素案を切り替えることで別の素案が編集可能になります
- これにより、受け手予定者別に素案を作り分けて後ほどまとめて協議するなどを行うことができます
- 素案を切り替えたり、一旦作成を終了する際は必ず「適用」ボタンをクリックしてください

目標地図編集

地域計画: テストプラン
目標地図: 目標地図サンプル
素案: 素案サンプル2
設定済
素案サンプル1
素案サンプル2

選択	耕作者 (受け手予定者)	大字	小字	本番区分	本
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90
☐	受入 露雄	白石山			90

地図から選択: 目標地図
設定項目: 目標地図の耕作者(受け手予定者) 内容
目標地図内の耕作者: 絞り込み 設定済 農業を担う者 全選択 全解除

選択	農業を担う者	耕作者	担い手の区分	現況面積集計 (実行前)	現況面積集計 (実行後)	農地バンクの率
☐	☐	受入 露雄		414366.34㎡	414366.34㎡	

適用 閉じる

素案を複数設定している場合はここで切替可能。

素案を切り替えたり、一旦素案作成をやめるときは「適用ボタン」で保存すること。

③目標地図素案の編集（シミュレーションによる自動設定）

目標地図素案の編集（シミュレーションの概要）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- シミュレーションで利用可能なテーマの一覧は以下のとおりです

項番	テーマ名	分類	概要
1	規模縮小の農地を担い手に集積する	集積	担い手（認定農業者）に後継者のいない規模縮小の農地を集積する。
2	規模縮小の農地を担い手以外の農家に集積する	集積	担い手に集積しようとしたものの見つからず、代わりに担い手に準ずる者（今後育成すべき農業者）に集積する。
3	規模縮小の農地を農家に集積する	集積	担い手等に集積しようとしたものの見つからず、代わりに規模拡大を希望する農家に集積する。
4	規模縮小の農地を近隣で耕作する現状維持の農家に集積する	集積	受け手が見つからないため、近隣で耕作する現状維持の農家を対象に農地の集積を行う。
5	受け手が見つからない農地を探す	空間検索	受け手が見つからない農地を強調表示する。
6	受け手が見つからない農地から新規就農エリアを作成する	空間検索	受け手が見つからなく、且つ遊休農地の区分が「農地法第32条第1項第1号（黄）」の農地から新規就農エリアを登録する。
7	集約化への協力要請が必要な農家の農地を探す	空間検索	集約に協力してほしい農家を強調表示する。
8	相続未登記の農地を探す	空間検索	相続未登記のため目標地図の実行時に権利移動が難しい農地を強調表示する。
9	集約化に協力する担い手同士の農地を集約する	集約	集約化に協力する担い手（認定農業者）同士の農地を集約する。
10	集約化に協力する農地を担い手に集約する	集約	集約化に協力する農地を担い手（認定農業者）に集約する。
11	集約化に協力する農地を担い手以外の農家に集約する	集約	担い手に集約しようとしたものの見つからず、代わりに担い手に準ずる者（今後育成すべき農業者）に集約する。
12	集約化に協力する農地を集約する	集約	担い手等に集約しようとしたものの見つからず、代わりに集約化を希望する農家に集約する。

※担い手等のテーマを選択する場合は、【台帳管理】－【世帯員/構成員データ】－【認定】タブ内の担い手等区分の登録も必要となります。

目標地図素案の編集（集積のシミュレーションの概要）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 各シミュレーション項目を利用するためには、台帳に下表の項目が入力・管理されている必要があります。 ※黄色塗りが意向把握で入力できる項目

項番	種別	項目	概要
1	農家／法人経営データ	今後の経営の意向	「集積する側（規模拡大）」と「集積される側（規模縮小）」と「集積対象外（現状維持）」の3グループの仕分けに利用します。
2	農家／法人経営データ	拡大／縮小希望面積	「集積する側（規模拡大）」と「集積される側（規模縮小）」のマッチング時、双方の希望面積の上下限を閾値として利用します。
3	世帯員／構成員データ	担い手等の区分	「集積する側（規模拡大）」と「集積される側（規模縮小）」のマッチングに利用します。
4	土地データ	集約化希望中心地	「集積する側（規模拡大）」と「集積される側（規模縮小）」のマッチングに利用します。
5	土地データ	農振法	農振法「農振地域外」「その他」はマッチング対象外とするために利用します。

図1：集積のシミュレーション機能での必須の台帳項目

項番	オプション	概要
1	規模拡大の範囲	「土地データ - 意向・現状把握 - 集約化希望中心地」に「集約化の中心」が設定された農地を中心としてどのくらいの範囲（半径）をマッチング対象とするかの値を指定します。単位はメートルです。
2	拡大した農地の模様分け	マッチングが成立し、集積された農地を強調表示するための模様分けを指定します。
3	規模拡大を希望する者に高齢者は含まない	今後の経営意向にて「拡大」を希望している耕作者から、特定の年齢以上の耕作者を除外します。
4	希望借受期間が長い受け手から集積する	マッチングを行う際に規模拡大の意向の耕作者が複数いた場合、「農家／法人経営データ - 経営意向 - 希望期間」の期間が長い耕作者を優先します。
5	希望拡大・縮小方法が同じ条件の農地を集積する	マッチングを行う際に「農家／法人経営データ - 経営意向 - 希望形態」を参照して、それぞれの耕作者の希望形態が一致している場合のみマッチングするようにします。

図2：集積のシミュレーション機能での規模拡大のオプション項目

項番	オプション	概要
1	経営移譲（移譲先が決まっている）に該当する農地の模様分け	「農家／法人経営データ - 経営意向 - 今後の経営意向」が「経営移譲（移譲先が決まっている）」となっている農地を強調表示するための模様分けを指定します。
2	耕作者が同じ隣接する農地をまとめて集積する	農地が隣接し同じ耕作者が耕作している農地がある場合、それらの農地をまとめて1つとした上で「集積する側（規模拡大）」にマッチングを行います。
3	遊休農地ではない農地から集積する	「集積される側（規模縮小）」の農地を集積する際に「土地データ - 利用状況調査/意向調査 - 遊休農地の区分」を参照して、遊休農地ではない優良な農地からマッチングを行います。
4	現況地目が「田、畑、樹園地、採草放牧地、農業用施設」の農地のみを集積する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 基本情報 - 現況地目」に「田、畑、樹園地、採草放牧地、農業用施設」以外が設定されている対象地を除外します。
5	転用扱いの農地を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 転用/猶予/緑地 - 転用形態」に「設定無」以外が設定されている対象地を除外します。
6	農地種別「第2種」「第3種」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 基本情報 - 農地種別」に「第2種」「第3種」が設定されている対象地を除外します。
7	都市計画法「市街化区域」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 基本情報 - 都市計法」に「市街化区域」が設定されている対象地を除外します。
8	農業用施設「撤去不可」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 意向・現状把握 - 農業用施設の有無」に「有り・撤去不可」が設定されている対象地を除外します。
9	農地状況（園芸樹木）「伐採不可」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 意向・現状把握 - 農地状況（園芸樹木）」に「有り・伐採不可」が設定されている対象地を除外します。
10	圃場整備が「計画有り」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、「土地データ - 基本情報 - 圃場整備」に「計画有り」が設定されている対象地を除外します。
11	耕作者の異動区分が「死亡」を集積対象から除外する	「集積される側（規模縮小）」の対象地から、その対象地の耕作者の「世帯員／構成員データ - 基本情報 - 異動区分」に「死亡」が設定されている対象地を除外します。

図3：集積のシミュレーション機能での規模縮小のオプション項目

目標地図素案の編集（集約のシミュレーションの概要）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 各シミュレーション項目を利用するためには、台帳に下表の項目が入力・管理されている必要があります。 ※黄色塗りが意向把握で入力できる項目

項番	種別	項目	概要
1	農家/法人経営データ	農地の交換・移動	集約の対象地を抽出する際の条件として「可」が設定されている対象地のみに絞り込まれます。
2	世帯員/構成員データ	担い手等の区分	マッチングに利用します。
3	土地データ	所有者の意向	集約の対象地を抽出する際の条件として「農地の交換」が設定されている対象地のみに絞り込まれます。
4	土地データ	集約化希望中心地	集約を行う際の基点となる土地の条件に利用します。
5	土地データ	現況地目	集約の対象地を抽出する際の条件として「田」「畑」「樹園地」「採草放牧地」「農業用施設」が設定されている対象地のみに絞り込まれます。

図1：集約のシミュレーション機能での必須の台帳項目

項番	オプション	概要
1	集約の範囲	「土地データ - 意向・現状把握 - 集約化希望中心地」に「集約化の中心」が設定された農地を中心としてどのくらいの範囲（半径）をマッチング対象とするかの値を指定します。単位はメートルです。
2	集約時に許容する面積差	「土地データ - 基本情報 - 現況面積」を参照して、集約のマッチング（農地Aと農地Bの交換）を行う際に許容する現況面積の差を指定します。
3	集約した農地の模様分け	マッチングが成立し、集約された農地を強調表示するための模様分けを指定します。
4	希望拡大・縮小方法が同じ条件の農地を集約する	マッチングを行う際に「農家/法人経営データ - 経営意向 - 希望形態」を参照して、それぞれの耕作者の希望形態が一致している場合のみマッチングするようにします。
5	同じ現況地目同士の農地を集約する	マッチングを行う際に「土地データ - 基本情報 - 現況地目」を参照して、同じ現況地目同士の場合のみマッチングするようにします。
6	現況地目「樹園地」を集約対象から除外する	「土地データ - 基本情報 - 現況地目」を参照して、値に「樹園地」が設定されている対象地を除外します。
7	農業用施設の有無に回答がある農地を集約対象から除外する	「土地データ - 意向・現状把握 - 農業用施設の有無」を参照して、値に「有り・撤去不可」が設定されている対象地を除外します。
8	農地状況（園芸樹木）の有無に回答がある農地を集約対象から除外する	「土地データ - 意向・現状把握 - 農地状況（園芸樹木）」を参照して、値に「有り・伐採不可」が設定されている対象地を除外します。
9	圃場整備が「計画有り」を集約対象から除外する	「土地データ - 基本情報 - 圃場整備」を参照して、値に「計画有り」が設定されている対象地を除外します。

図2：集約のシミュレーション機能でのオプション項目

目標地図素案の編集（シミュレーション設定）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 「シミュレーション設定」タブでシミュレーションを実行するために必要な設定を行います。設定は集積・集約・空間検索それぞれ異なります。
- シミュレーションによって耕作者が変わった農地を示す模様分け、除外する農地の条件などを設定します。
- 設定を登録した後、シミュレーション実行タブにてシミュレーションを行います。

① + ボタンで条件項目の設定を行います。追加された行を選択し条件の名称を入力します。

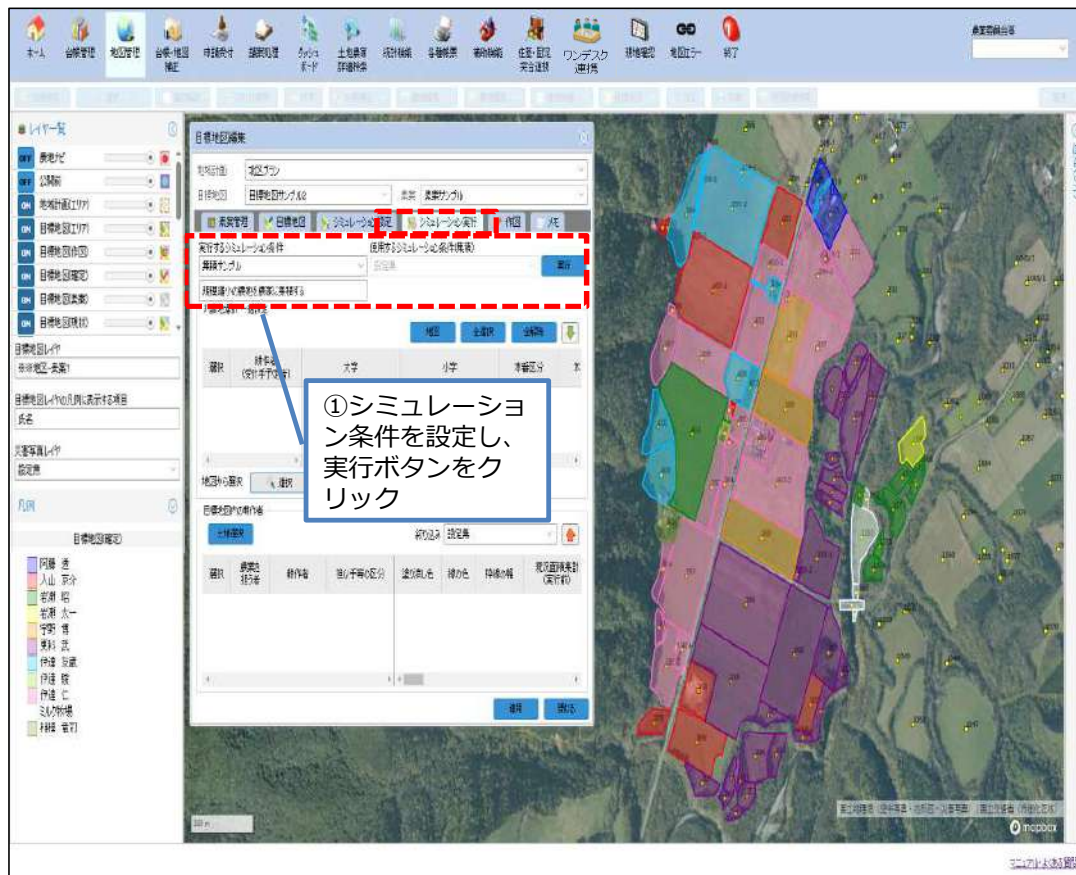
② シミュレーションのテーマを選択します。

③ シミュレーション実施にあたってのオプション設定を行います。

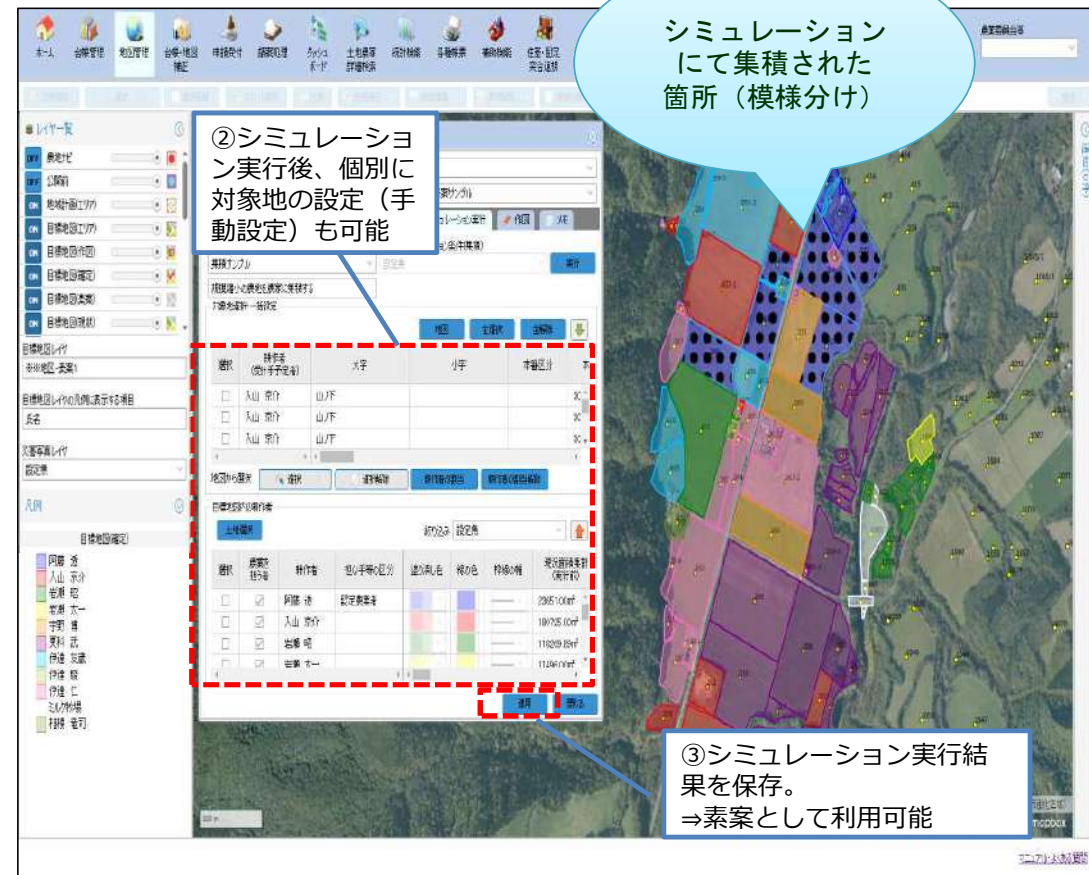
④ 「適用ボタン」をクリックし条件を保存します。

目標地図素案の編集（シミュレーション実行 集積の場合）

- ・ 事前に作成したシミュレーション設定を用いて、シミュレーションを実行します
- ・ 集積のシミュレーションでは、規模拡大の意向の農家に規模縮小の意向の農家の農地が集積（割当）されます
- ・ シミュレーションの結果、集積された箇所は集積後の耕作者の色分けと設定した模様分けが行われます
- ・ シミュレーションの実行後、その場で結果を修正してから保存することも可能です



シミュレーション実行前

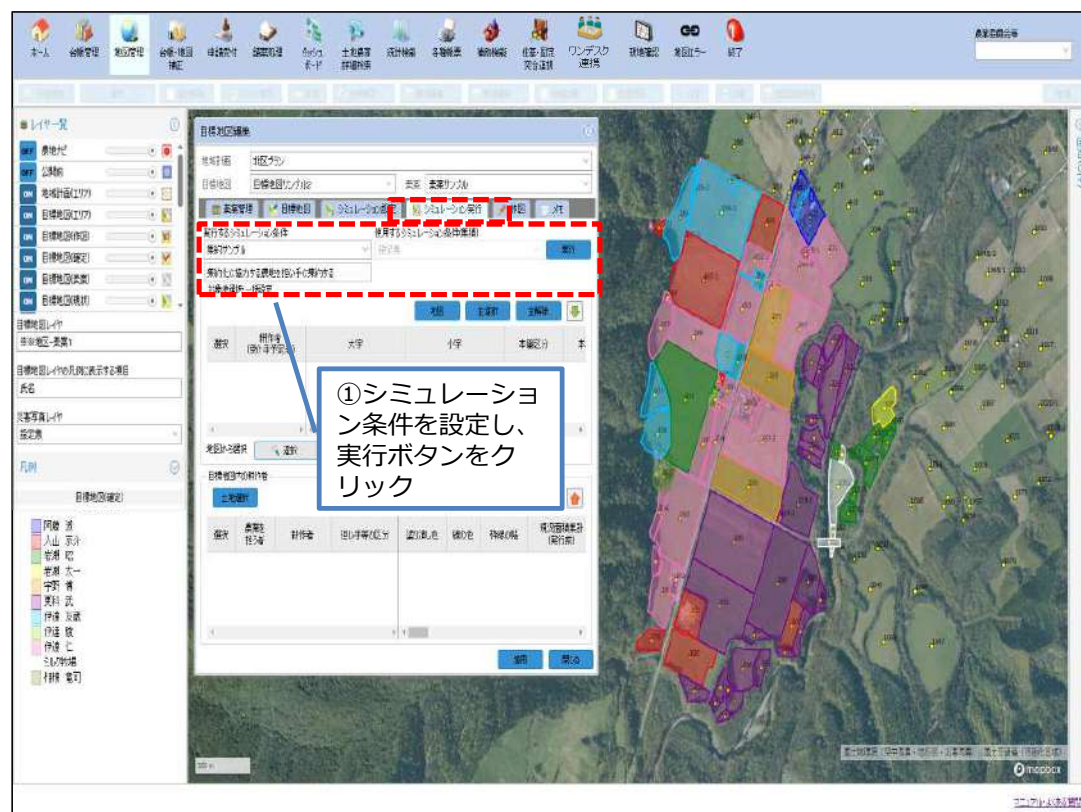


シミュレーション実行後

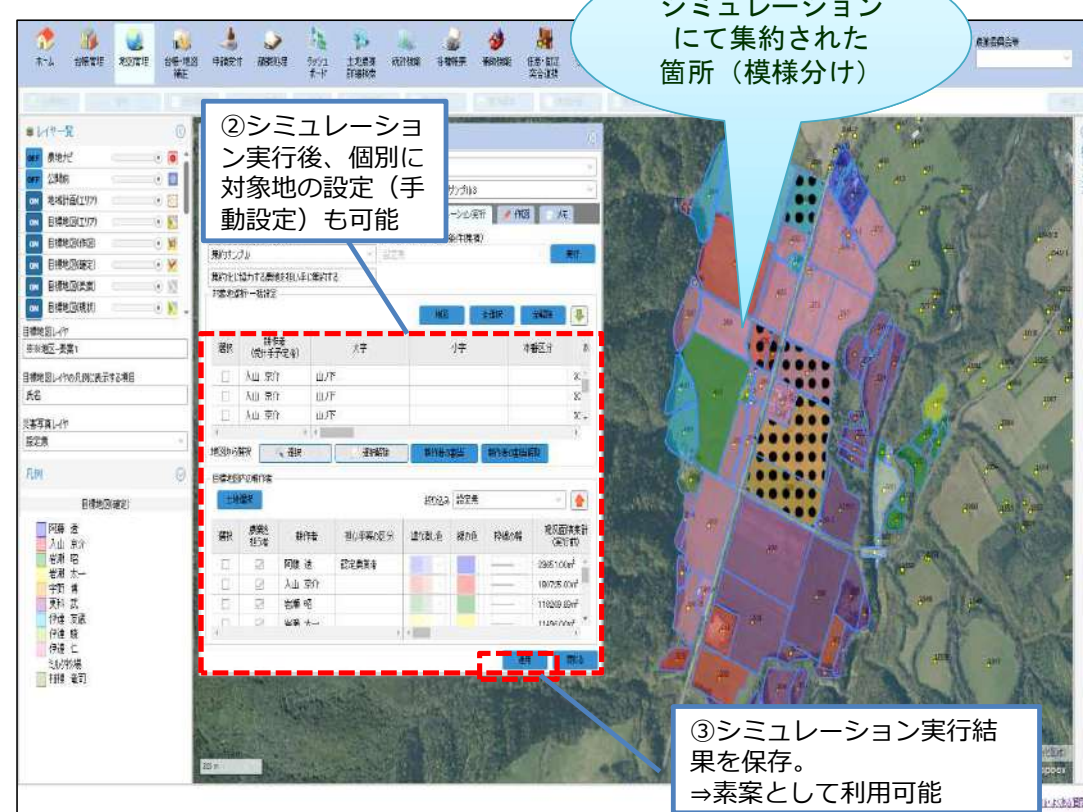
目標地図素案の編集（シミュレーション実行 集約の場合）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 事前に作成したシミュレーション設定を用いて、シミュレーションを実行します
- 集約のシミュレーションでは、同じ意向の農家同士の農地が集約（交換）されます
- シミュレーションの結果、集約された箇所は集約後の耕作者の色分けと設定した模様分けが行われます
- シミュレーションの実行後、その場で結果を修正してから保存することも可能です



シミュレーション実行前



シミュレーション実行後

④目標地図素案の編集（作図・メモ）

目標地図素案の編集（作図・メモ）

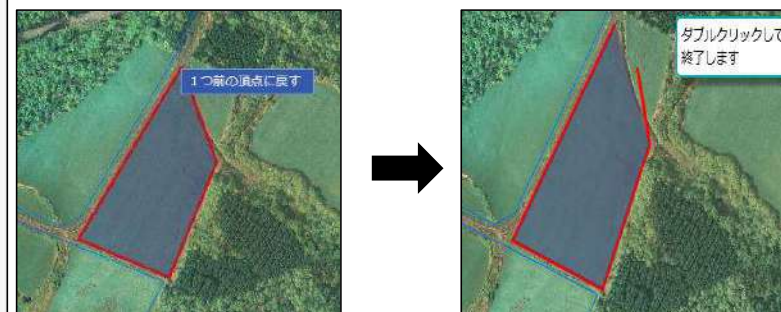
令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図の素案ごとに、作図機能を用いてエリア作成（ポリゴン設定）やラベルなどで装飾が可能です
- ここでは、目標地図内に受け手が存在しなかったため「今後検討」を示すポリゴンとラベルを作成してみます。
- 「作図」タブにおいて下図のようにまずはポリゴンを作成します

☆作図の方法

・地図画面上で、左クリックすると頂点が作成されます。次の頂点としたい地点で左クリックすることで、次の頂点が作成されます。この操作を繰り返して、任意の位置で頂点を作成し、最後にダブルクリックすると作図が完了し、エリアが作成されます。

・線を引き直したい場合は、右クリックすることで「1つ前の頂点に戻る」の表示が現れるので、この文字をクリックすることで、一つ前の頂点から操作をやり直すことができます。



保存する場合は適用ボタンをクリック

目標地図素案の編集（作図・メモ）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 次に、ラベルを作成します
- この後に印刷物を作成する際にもこれらは表示されるため、適切な位置にラベルを配置します

The screenshot shows the 'Target Map Draft Editing' (目標地図編集) window. The interface includes a top menu bar with various system functions, a left sidebar for layer management (レイヤー一覧), and a main map area. A right-hand panel contains settings for the draft, including a text input field for the label name, size selection buttons (小, 中, 大, 特), and color/size adjustment options. A legend (凡例) is visible in the bottom left corner.

①ラベルを作成する場合に選択

②追加したいラベルの名称を入力する

③文字の大きさや色を設定可能

④ラベルを配置したい中心点を左クリックし、ラベルが地図上に表示される。

※作成したラベルを削除したい場合は当該ラベルを選択し削除ボタンをクリック

保存する場合は適用ボタンをクリック

今後検討

目標地図素案の編集（作図・メモ）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図の素案編集の変遷を管理するため、メモを登録することができます
- このメモは、素案ごとのメモではなく、目標地図ごとのメモとなります
- このため、複数の素案を管理している場合にも一括してメモの管理ができます

目標地図素案の編集

地図計画: テストプラン
目標地図: 目標地図サンプル
素案: 素案サンプル

素案管理 | 目標地図 | シミュレーション設定 | シミュレーション実行 | 作図 | **メモ**

メモ

メモ一覧

選択	メモ	登録年月日
☐	素案サンプルを編集	令和05年01月04日

今後検討

適用 | 戻る

保存する場合は適用ボタンをクリック

⑤目標地図素案の印刷

目標地図素案の印刷

- ・ 協議の場などで目標地図の素案を協議する際に使用する図面を印刷します
- ・ 既存機能の「地図管理－印刷」から印刷物（PDFまたは画像）の出力が可能です

The screenshot shows the '印刷' (Print) dialog box in the '農業委員会サポートシステム'. The dialog has a 'テンプレート' (Template) section with a dropdown set to 'A2 横'. Below this are checkboxes for '装飾' (Decorations): '方位記号の表示' (Display orientation symbol), 'スケールバーの表示' (Display scale bar), and '凡例の表示' (Display legend), all of which are checked. The '印刷時の縮尺' (Scale at printing) is set to '1/7500'. The '印刷範囲の移動' (Move print area) is set to '現在地に設定' (Set to current location). The '印刷時の表示状態' (Display state at printing) is set to 'ピン・ポリゴン・表示' (Pin/Polygon display). At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'PDF出力' (PDF output) and '画像出力' (Image output), both of which are highlighted with red boxes. A blue arrow points from the 'PDF出力' button to a callout box that says: 「PDF出力」または「画像出力」をクリックすると、地図をダウンロードできます。 (Clicking 'PDF output' or 'Image output' allows you to download the map). Another blue arrow points from the 'PDF出力' button to a second callout box that says: 地図は「通知」欄に地図をPDFで取得する場合は、ここから取得可能 (If you want to get the map as a PDF in the 'Notification' section, you can get it from here). A red arrow points from the '通知(1件)' (Notification (1 item)) section of the system's notification panel to a third callout box. The notification panel shows a message: 'PDF出力' (PDF output) with a timestamp of '17:22:40' and the text '印刷の準備が完了しました。テンプレート:A4 横' (Printing preparation is complete. Template: A4 landscape). A red box highlights the 'PDFの表示' (Display PDF) button in the notification panel.

「PDF出力」または「画像出力」をクリックすると、地図をダウンロードできます。

地図は「通知」欄に地図をPDFで取得する場合は、ここから取得可能

通知(1件)

PDF出力

17:22:40

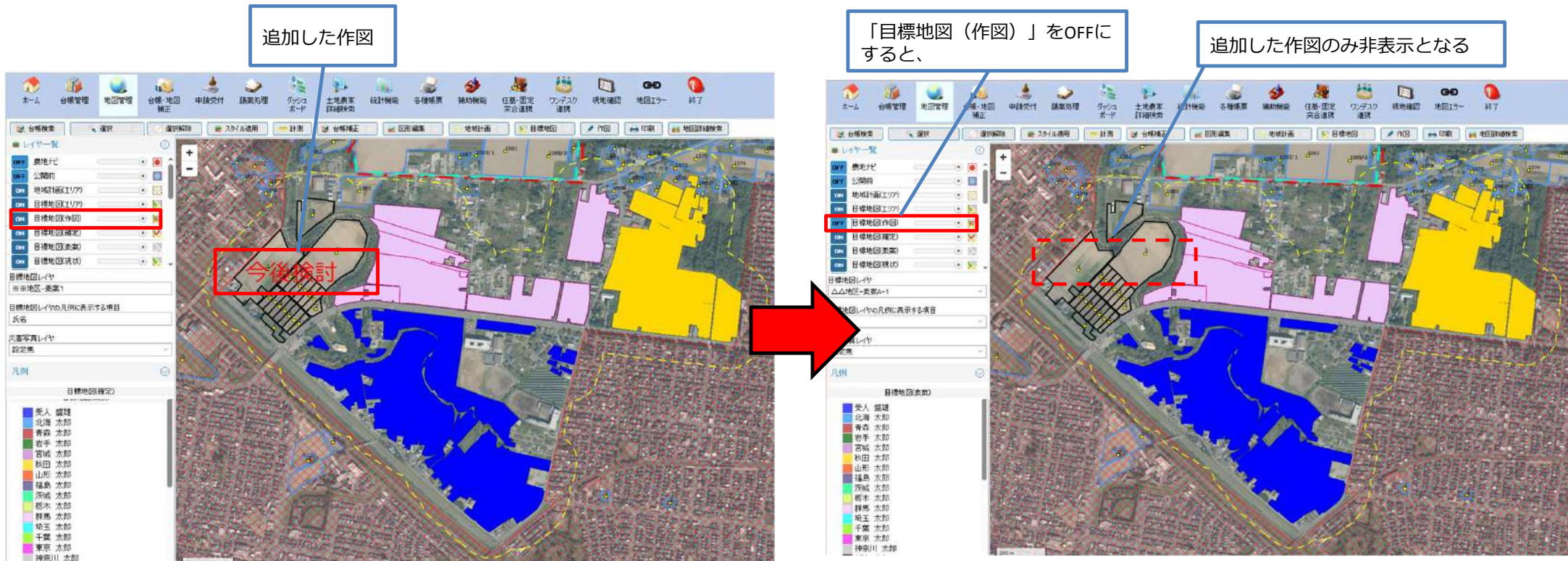
印刷の準備が完了しました。テンプレート:A4 横

PDFの表示

(参考) 作図を非表示にした目標地図の印刷

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- レイヤー一覧のうち「目標地図（作図）」をOFFにすると、目標地図素案に追加した作図が非表示になります。
- この状態で印刷した場合、作図は非表示のまま出力することができます。



(参考) 目標地図レイヤの凡例に表示する項目の選択

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図レイヤの凡例に表示できる項目は「氏名」以外に、「世帯員任意文字列1_1~4_4」も選択できます。
- ※ 事前に台帳データの「世帯員任意文字列」に登録が必要です。
- 選択した項目は、印刷処理を行った際の画像・PDFファイルにも表示されます。
- 目標地図の凡例を匿名で表示する場合に活用します。

【世帯員任意文字列の設定箇所】

①目標地図レイヤの凡例に表示する項目で「世帯員任意文字列1_1~4_4」を選択する

目標地図レイヤ
東新宿地域計画大久保地区エリア-大久保地区

目標地図レイヤの凡例に表示する項目
世帯員任意文字列1__1

災害写真レイヤ
設定無

凡例

目標地図(素案)

- 大久保地区01
- 大久保地区02
- 大久保地区03
- 大久保地区04

②「台帳管理-世帯員任意項目グループ-世帯員任意文字列」のデータが目標地図の凡例に表示される

【印刷図：凡例表示例】

③出力した印刷図の凡例にも世帯員任意文字列が表示される

目標地図(素案)

- 大久保地区01
- 大久保地区02
- 大久保地区03
- 大久保地区04

国土地理院(空中写真)

mapbox

1:5000

(参考) Excelを活用した目標地図の凡例を匿名表示にする方法

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- サポートシステムの機能ではありませんが、Excelを活用して凡例表示を数字やアルファベット等に置き換える方法をご紹介します。
- 目標地図を表示し、左下の「凡例」の色と耕作者名（受け手予定者）を画面上で全選択し、コピーします。

①凡例の色と耕作者名（受け手予定者）を全選択

②右クリックし、コピーを選択

コピー
Ctrl+C

選択箇所へのリンクをコピー

Googleで「受入 盛雄 北海 太郎 青森 太郎 岩手 太郎 宮城 太郎 秋田 太郎 山形 太郎 福島 太郎...」を検索

印刷...
Ctrl+P

リーディングモードで開く

選択範囲を日本語に翻訳

検証

(参考) 目標地図の凡例を匿名表示にする方法

- Excelを開き、p65でコピーした凡例を「元の書式を保持」で貼り付けます。

貼り付けのオプション:

- 更新可能な Web クエリ(W)...
- 形式を選択して貼り付け(S)...

①任意の場所で右クリックし、「元の書式を保持」で貼り付け

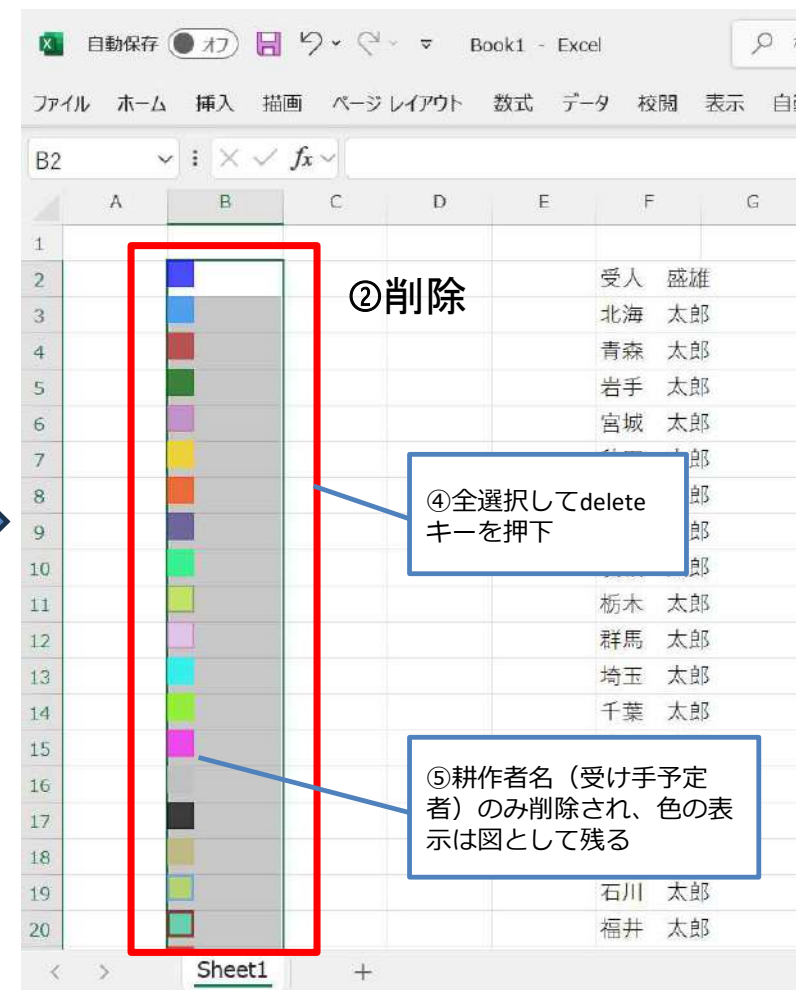
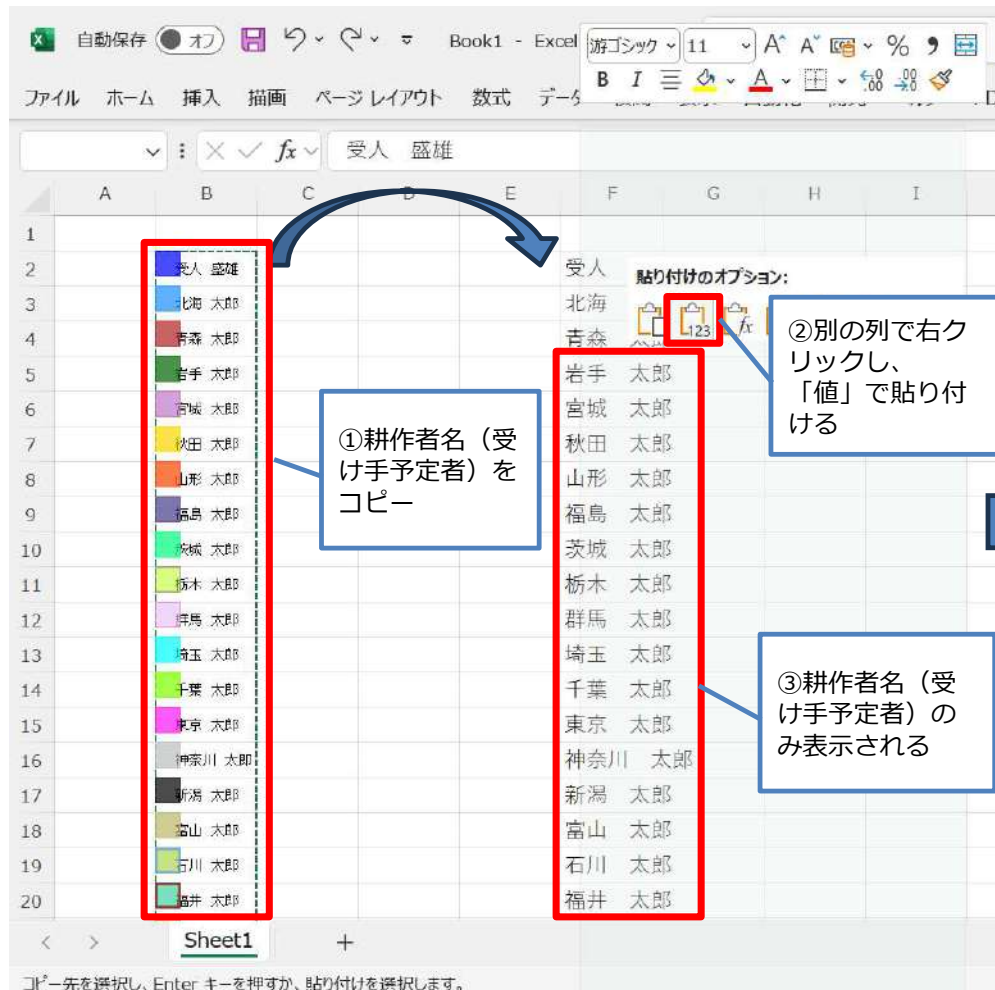
②色の表示は図として、耕作者氏名はテキストとして貼り付けられる

【注意】
ご利用のMicrosoft Officeのバージョンによっては、ExcelやPowerPointの表示が一部異なる場合があります。
Wordに貼り付けると表示される場合もあります。

(参考) 目標地図の凡例を匿名表示にする方法

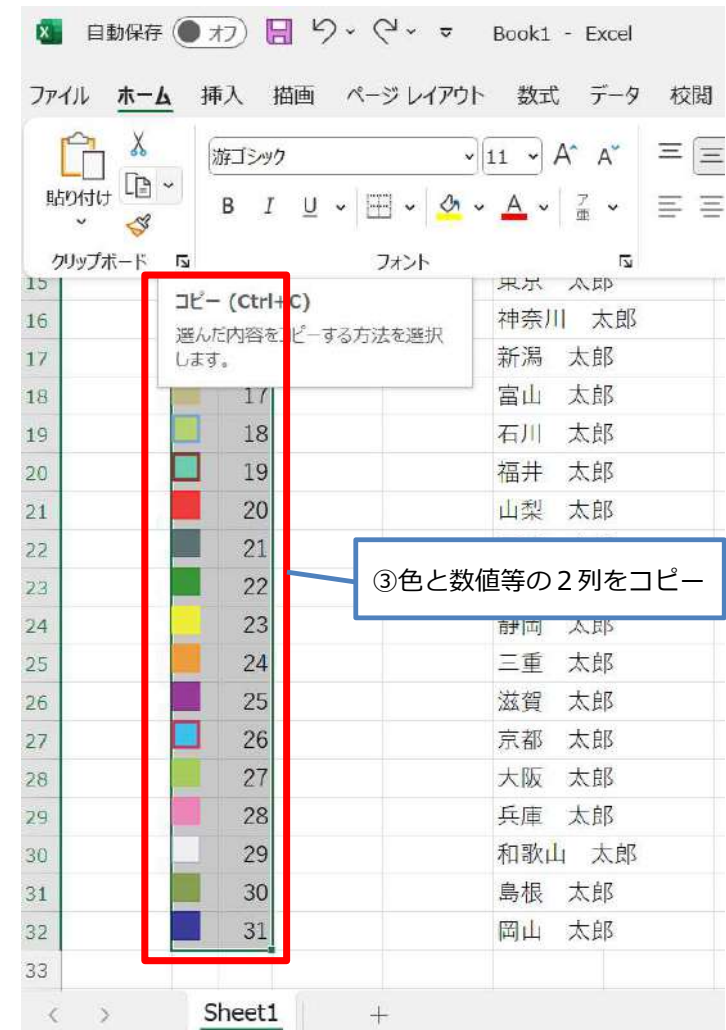
令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 耕作者名（受け手予定者）はコピーして別の列に「値」で貼り付け、元の列の耕作者氏名は全指定して削除します。



(参考) 目標地図の凡例を匿名表示にする方法

- 隣の列に任意の数値等を入力し、列幅を整えてから色と数値等の2列をコピーする。



(参考) 目標地図の凡例を匿名表示にする方法

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- ・ パワーポイント等にp62で出力した地図を挿入するとともに、p68でコピーした凡例を「図」として貼り付けて完成です。
- ・ 名前を付けて保存する際はPDFやJPEG、PNG（画像ファイル）で保存可能です。



完成！！

①

1	受人 盛雄
2	北海 太郎
3	青森 太郎
4	岩手 太郎
5	宮城 太郎
6	秋田 太郎
7	山形 太郎
8	福島 太郎
9	茨城 太郎
10	栃木 太郎
11	群馬 太郎
12	埼玉 太郎
13	千葉 太郎
14	東京 太郎
15	神奈川 太郎
16	新潟 太郎
17	富山 太郎
18	石川 太郎
19	福井 太郎
20	山梨 太郎
21	長野 太郎
22	岐阜 太郎
23	静岡 太郎
24	三重 太郎
25	滋賀 太郎
26	京都 太郎
27	大阪 太郎
28	兵庫 太郎

②

1	17
2	18
3	19
4	20
5	21
6	22
7	23
8	24
9	25
10	26
11	27
12	28
13	29
14	30
15	31
16	

<参考>

① p67のExcelを加工し、耕作者氏名と凡例の「対照表」を作ることができます。

② 凡例が長すぎる時は、Excel上で列を分割してからコピーをすると便利です。

4 目標地図の確定

目標地図の確定

- 素案管理タブを開き、確定となった素案にチェックを付けて「素案確定」ボタンをクリックします
- 確認画面が表示されるので、問題がなければOKボタンをクリックします

①確定する素案にチェック

②素案確定をクリック

③メッセージが表示されるので、OKをクリック

目標地図の確定

- 素案の確定後、目標地図として縦覧・公告を行います
- 公告後、目標地図が決定となった場合、「決定・公告」ボタンをクリックして該当の素案を「決定・公告状態」に変更します
- これによって、目標地図の素案が決定公告済の状態となり、農用地利用集積等促進計画案の作成が可能となります

目標地図編集

地域計画: デモ地域計画
目標地図: デモ目標地図
素案: デモ素案-将来-

①決定・公告をクリック

②適用をクリック

選択	目標地図 素案名	素案確定	公告済	最終更新日
☐	デモ素案-塗分け無し-	☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-現状-	☐	☐	令和06年08月02日
☒	デモ素案-将来-	☒	☐	令和07年04月16日

目標地図レイヤー
※※地区-素案1

目標地図レイヤーの凡例に表示する項目
氏名

災害写真レイヤー
設定無

凡例

目標地図(確定)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

300 m

国土地理院 (空中写真) | 国土交通省 (市街化区域)

mapbox

地域計画情報の台帳反映

- 決定・公告後は「地域計画台帳反映」ボタンが有効になります
- このボタンをクリックすると、台帳へ地域計画を反映して良いか、確認画面が表示されるので、問題がなければOKボタンをクリックします
- OKをクリックすると、目標地図の対象地の台帳に地域計画名が反映されます

①地域計画台帳反映をクリック

②メッセージが表示されるので、OKをクリック

農業委員会サポートシステム

目標地図と紐づいた土地データに地域計画を反映します。よろしいですか？

OK キャンセル

選択	目標地図	素案名	素案確定	公告済	最終更新日
☐	デモ素案-塗分け無し		☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-現状		☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-将来		☒	☒	令和07年04月16日

地域計画情報の台帳反映

- 「地域計画台帳反映」を行うことで、台帳の地域計画欄に地域計画名が入ります

ホーム
 台帳管理
 地図管理
 台帳・地図補正
 申請受付
 議案処理
 ダッシュボード
 土地農家詳細検索
 統計機能
 各種帳票
 補助機能
 住基・固定突合連携

台帳管理
 名簿から探す
 所在から探す
 農家/法人新規登録
 共有者管理

経営区分
 その他

大字
 白石川

小字

農家/法人番号
 20000000101

経営主/法人名

農事組合

土地データ
 世帯員/構成員データ
 農家/法人経営データ

基本情報
 総括表

	履歴	市町村名	大字	小字	地番	区分	地区	地域計画	耕地番号
1			西白石		797-1		設定無		0
2			西白石		797-1-1		設定無		0
3			西白石		797-1-1-843		設定無		0

地域計画名が入ります

地域計画データのCSV出力

- 決定・公告後は、「ワンデスク連携」から地域計画データをCSVで出力し、データ集計等に活用できます
※決定・公告前の状態では「該当データがありません」と表示され、出力できません

計画ID	計画名	状況	作成年月日	更新年月日
1	シミュレーション用計画	作成済	R05.06.21	R05.06.21

①計画名を選択

②CSV出力をクリック

CSV出力

追加 削除 更新 取消

CSV出力可能な主な項目

目標地図の対象地ごとに出力できます。

- ①地域計画名
- ②大字・小字・地番・区分
- ③地区名
- ④登記簿地目・現況地目
- ⑤登記簿面積・現況面積
- ⑥現況面積
- ⑦農振法区分
- ⑧耕作状況
- ⑨現所有者
- ⑩現耕作者
- ⑪現所有者・耕作者担い手区分
- ⑫現耕作者権利の種類
- ⑬【目標地図】目標地図名
- ⑭【目標地図】予定農業者
- ⑮【目標地図】予定農業者担い手等区分
- ⑯【目標地図】予定農業者世帯員任意文字列
1-1～4-4

5 目標地図の変更素案

①目標地図の確定解除

素案の確定解除

- 目標地図の修正が必要となった場合、「確定解除」ボタンをクリックすると修正可能な状態になります。
- ※ 「地域計画台帳反映」を実行済みの場合、確定解除をすると台帳に連携されていた地域計画名は消去され、空欄となります。変更が終了しましたら再度、地域計画情報を台帳へ反映させてください（p91参照）。

農業委員会サポートシステム

素案を確定解除します。よろしいですか？
確定解除を行うと、目標地図と紐づく土地データの地域計画が消去されます。

OK キャンセル

①「確定解除」ボタンをクリック

②OKをクリックすると解除されます

目標地図管理

地域計画: デモ地域計画
目標地図: デモ目標地図
素案: デモ素案-将来-

目標地図

名称: デモ目標地図
作成状況: 決定公告済
塗り潰し色: [色選択]
枠線の幅: [数値]
線の色: [色選択]
線のスタイル: [スタイル選択]
最終更新日: 令和07年04月21日
同意収集状況: 設定無

選択	目標地図 素案名	素案確定	公告済	最終更新日
☐	デモ素案-塗分け無し	☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-現状-	☐	☐	令和06年08月02日
☐	デモ素案-将来-	☒	☒	令和07年04月21日

台帳情報更新 地域計画台帳反映 素案確定 決定公告 確定解除 適用 閉じる

②目標地図の変更

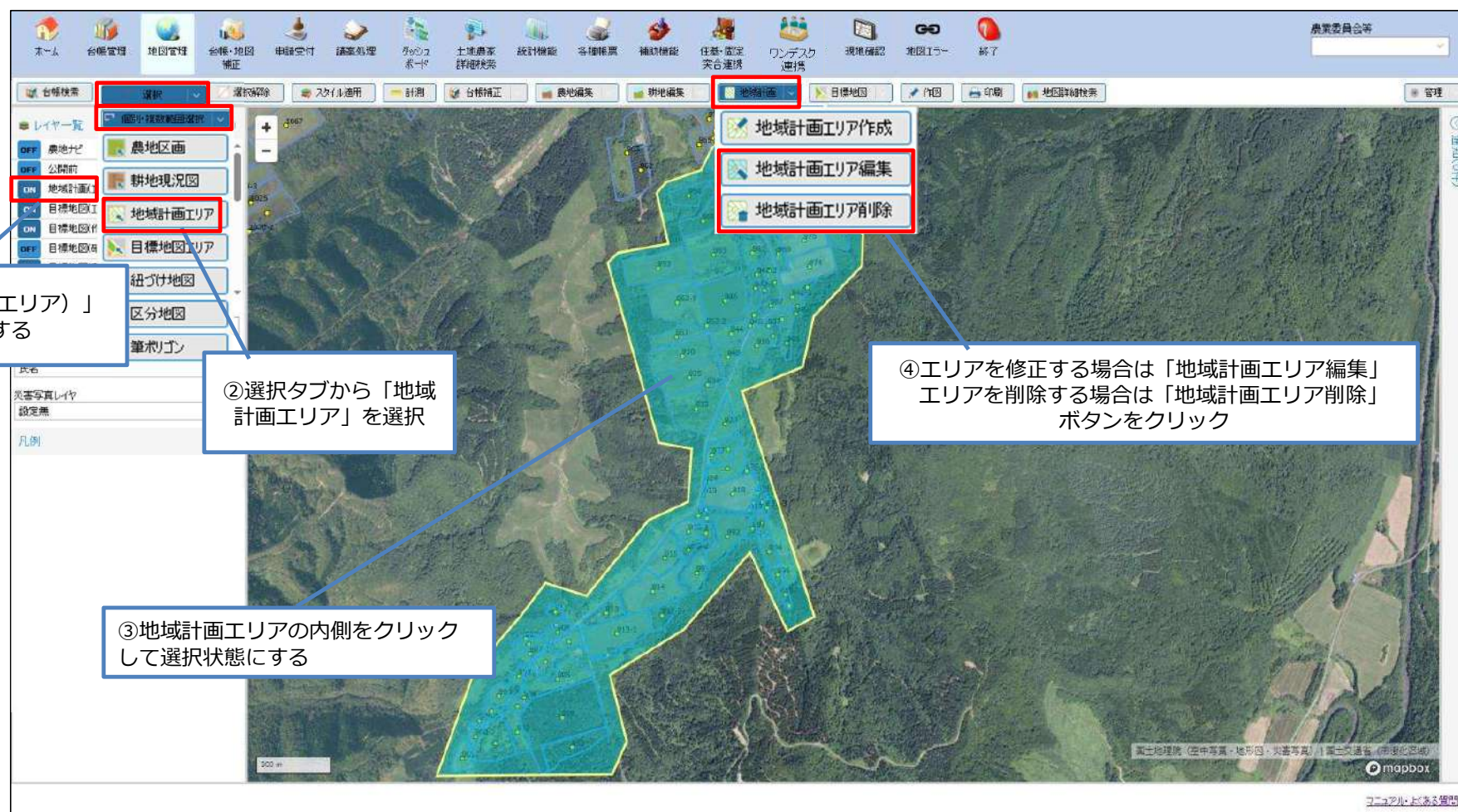
＜目標地図の変更方法について、以下のパターン別に説明します＞

- エリアの変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p80
- 対象地の変更（追加・削除）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p86
- 受け手予定者の変更・新規設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p87
- 台帳情報の更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p88
- 地図情報の更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p89

エリアの変更（地域計画エリアの編集）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 地域計画エリアは作成後に修正することが可能です。
- 選択タブから「地域計画エリア」を選択し、地図画面上で作成された地域計画エリアを選択します。
- 地域計画エリアを修正する場合は「地域計画」タブの「地域計画エリア編集」を行ってください。（p81参照）
削除する場合は「地域計画」タブの「地域計画エリア削除」を行ってください。（p82参照）



エリアの変更（地域計画エリアの編集）

- 地域計画エリア編集画面です。（地域計画エリアの選択はp80参照）
- 地域計画エリアの形状、スタイルが編集可能です。

紐づける地域計画を変更する場合は、プルダウンから選択します。
地域計画名を修正する場合は、ワンデスク連携-地域計画登録タブの地域計画名を修正すると自動で反映します。
(地域計画名の登録・修正はp9を参照)

作成したエリアの位置の修正は黄色○の点をクリックし任意の位置に動かす。

作成したエリアを拡大/縮小する場合はオレンジの○の点を動かす。

スタイルの修正も可能

編集が終了したら「適用」ボタンをクリック

地域計画エリア編集

市町村: 町

地域計画: テストプラン

作成状況: 作成済 最終更新日: 令和05年01月04日

スタイル設定

塗り潰し色: [色選択] 線の色: [色選択]

線の幅: [数値入力] 線のスタイル: [スタイル選択]

適用 閉じる

エリアの変更（地域計画エリアの削除）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 地域計画エリア削除画面です。（地域計画エリアの選択はp80参照）

地域計画エリア削除

市町村: 町

地域計画: がんばろう

作成状況: 作成中

最終更新日: 令和05年02月03日

スタイル設定

塗り潰し色: [選択] 線の色: [赤]

枠線の幅: [選択] 線のスタイル: [選択]

削除 閉じる

「削除」ボタンをクリック
※地域計画に紐づく目標地図が設定されている場合は削除不可

国土地理院（空中写真・地形図・災害写真） | 国土交通省（市街化区域）

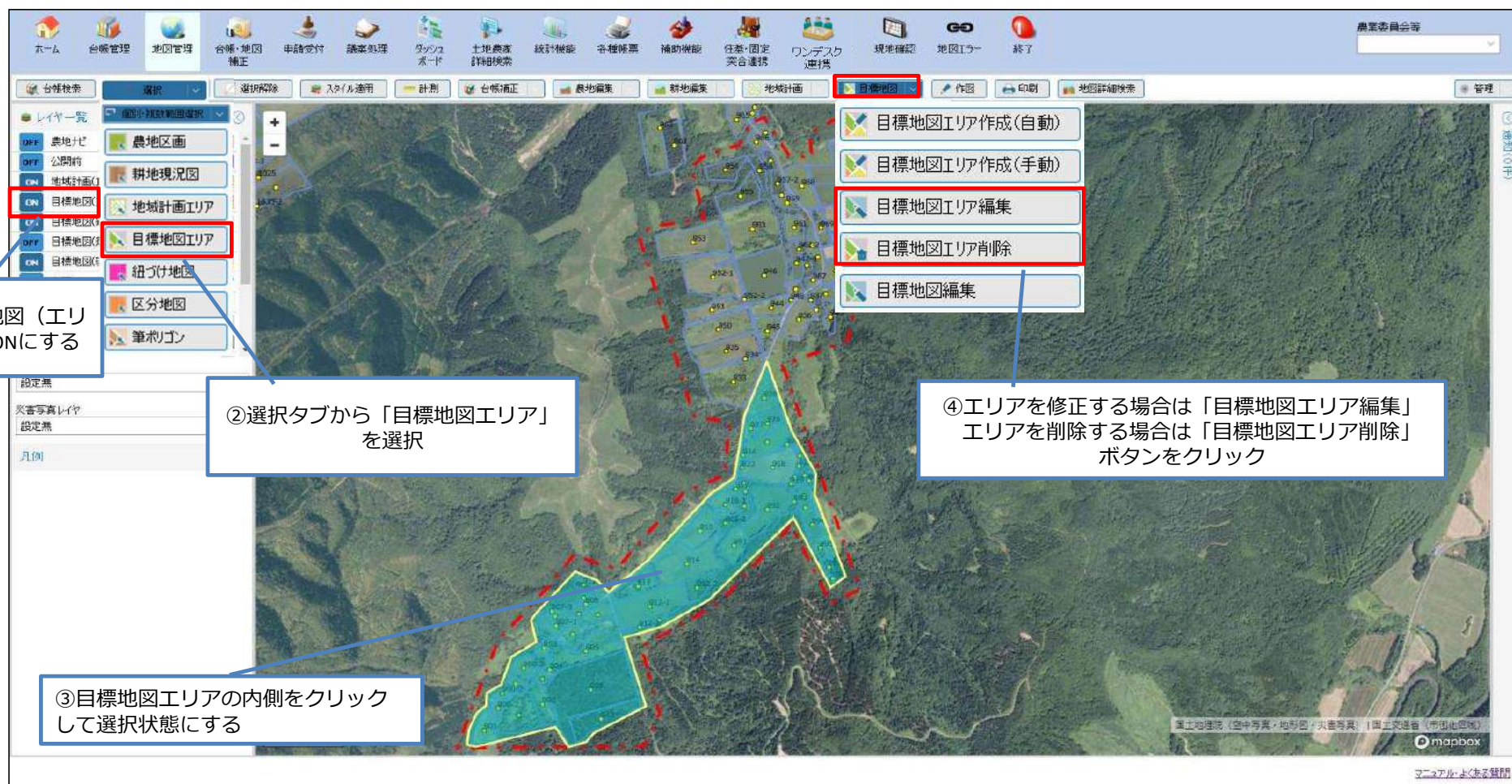
mapbox

マニュアルよくある質問

エリアの変更（目標地図エリアの編集）

令和7年度 農業委員会サポートシステム 操作研修会

- 目標地図エリアは作成後に修正することが可能です。
- 選択タブから「目標地図エリア」を選択し、地図画面上で作成された目標地図エリアを選択します。
- 目標地図エリアを修正する場合は「目標地図」タブの「目標地図エリア編集」を行ってください。（p84参照）
削除する場合は「目標地図」タブの「目標地図エリア削除」を行ってください。（p85参照）



エリアの変更（目標地図エリアの編集）

- 「目標地図エリア編集」の「エリア編集」タブの画面です。（目標地図エリアの選択はp28参照）
- 目標地図エリアの形状、スタイルを編集可能です。

エリアの色等も修正可能

作成したエリアの位置の修正は黄色○の点をクリックし任意の位置に動かす。

作成したエリアの拡大/縮小する場合はオレンジの○の点を動かす。

編集が終了したら「適用」ボタンをクリック

適用

エリアの変更（目標地図エリアの削除）

- 目標地図エリアを削除する場合は、「目標地図」タブの「目標地図エリア削除」で操作します。（目標地図エリアの選択は

p28

参照）

目標地図エリア削除

地域計画 ささ

エリア確認 対象地確認

目標地図名 デモクラシー 作成状況 素案作成中

塗り潰し色: [色選択] 罫の色: [黄色] 最終更新日 令和05年02月28日

罫線の幅: [線幅選択] 罫のスタイル: [線スタイル選択]

「削除」ボタンをクリック
※目標地図エリアに対し素案を作成をしていた場合（

p33

参照）は削除不可

再削除 閉じる

対象地の変更（追加・削除）

- p28にて目標地図エリアを選択後、目標地図エリア編集の「対象地選択」タブで、目標地図エリアの対象地を変更することができます。
- 対象地を削除する場合は、該当筆の選択欄にチェックを付けて「行削除」ボタンをクリックします。「選択する属性」を利用すると、削除対象としたい対象地を一括で選択することができます。
- 対象地を新たに追加する場合は、p29により設定してください。

台帳と地図の紐づき状態

地区
現況地目
現況地目(農地以外)
遊休農地の区分
農振法
都計法
転用形態
所有者の意向
異動区分(所有者)
異動区分(耕作者)

目標地図エリア編集

地域計画 シミュレーション用計画

エリア編集 対象地選択

対象地選択

選択するレイヤ 農地区画 選択 選択解除 対象地検索 エリア内選択

選択する属性 台帳と地図の紐づき状態 紐づかない 対象地選択

対象地一覧 地図 行削除 全選択 全解除

	選択	地図種別	台帳と地図の紐づき状態	市町村名	大字
1	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
2	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
3	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
4	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
5	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
6	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
7	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
8	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
9	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
10	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
11	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢
12	☒	農地地図	紐づかない	デモ049市	白石沢
13	☐	農地地図	紐づく	デモ049市	白石沢

適用 閉じる

①以下のいずれかの方法により不要な対象地を選択

◆選択する属性を利用して一括選択
「選択する属性」にて不要な対象地を選択するための条件を設定。その後、「対象地選択」ボタンをクリックすると、その条件を満たす対象地にのみチェックが付く

◆対象地一覧から直接選択
対象地一覧のうち不要な対象地の選択欄に直接、チェックを付ける

②「行削除」ボタンをクリックすると、選択欄にチェックが付いている筆のみ削除される

③対象地の選別が終わったら、「適用」をクリック

- ホーム 台帳管理 地図管理 台帳・地図補正 申請受付 諸票処理 クッシュボード 土地農家詳細検索 統計機能 各種帳票 補助機能 住基・固定資産連携 ワンダスク連携 現地確認 地図エラー 終了

⑥受け手予定者の変更が完了

⑤「一括設定」をクリック

③設定項目を「目標地図の
耕作者（受け手予定者）」
に設定

⑦「適用」ボタンをクリックして設定を保存

台帳情報の更新

- 土地情報を最新化したい場合は、目標地図編集の素案管理タブにて該当の素案を選択した後に「台帳情報更新」ボタンをクリックします。
- 台帳情報更新により所有者または耕作者が変更された場合には、「所有者・耕作者情報更新日」に更新した日付が登録されます（※「耕作者（受け手予定者）」は更新されません）。受け手予定者を変更する際の参考にしてください。
- ※ 台帳に存在しなくなった対象地は、p86の選択する属性のうち「台帳と地図の紐づき状態」が「紐づかない」になるとともに、対象地一覧で地番以外の項目が空欄となります。不要な場合はp86により対象地を削除するか、台帳と地図の紐づき状態を確認して、再度「台帳情報更新」ボタンをクリックしてください。

①土地情報を最新化したい素案の選択欄にチェックを付ける
※複数選択も可

②「台帳情報更新」ボタンをクリック

③台帳情報更新により、所有者または耕作者に変更があった場合は、「所有者・耕作者更新日」に日付が登録される。

④耕作者に変更があった場合でも、「耕作者（受け手予定者）」の項目は、自動で変更されません。p82により手動で変更する必要があります。

選択	耕作者 (受け手予定者)	所有者	耕作者	所有者・耕作者情報更新日
☒	秋田 太郎	秋田 太郎	受人 盛雄	令和07年04月23日
☐	群馬 太郎	秋田 太郎	秋田 太郎	
☐		秋田 太郎	秋田 太郎	
☐	秋田 太郎	山形 太郎	山形 太郎	

- 目標地図の土地情報は「素案を作成した時点の情報」として保存されていることから、目標地図を作成後に農地区画または紐づけ地図が更新された場合でも目標地図の土地情報が自動で更新されることはありません。
- 目標地図の色分けにも変化は生じません。
- 更新された地図情報を目標地図に反映する場合は、手動による操作が必要です。以下、反映方法をパターン別にご紹介します。

＜農地地図または紐づけ地図の形状が変わった場合＞

- ① p86にて形状変更を反映したい対象地を選択し、行削除する
 - ② 対象地をp29により再度設定する
 - ③ 農地地図または紐づけ地図の形状変更が目標地図に反映される
- ※ ②だけでは形状変更が反映されないため、①は必ず行ってください。
- ※ ②にて対象地を再度選択する際、「エリア内選択」で選択すると、重複して対象地として登録される場合がありますので、個別に対象地を選択しなおすことを推奨します。

＜農地地図または紐づけ地図そのものが削除された場合＞

- ① p86にて削除を反映したい対象地を選択し、行削除する
 - ② 農地地図または紐づけ地図の削除が目標地図に反映される
- ※ 既にポリゴンが存在しないため、「対象地検索」では表示されません。対象地一覧から直接選択して行削除してください。

③目標地図変更素案の確定

地域計画情報の台帳への再反映

- 目標地図の変更が終了しましたら、p71~により再度、素案確定及び決定・公告を行ってください。
- なお、すでに「地域計画台帳反映」を実行済みの場合、素案確定を解除すると台帳に連携されていた地域計画名は消去され、空欄となります。このため、変更完了後に「素案確定」「決定・公告」した後、「地域計画台帳反映」を再度クリックしてください。

①地域計画台帳反映をクリック

②メッセージが表示されるので、OKをクリック

③変更後の対象地にのみ地域計画名が入る

履歴	市町村名	大字	小字	地番	区分	地区	地域計画
1	デモ04...	北海		1		設置	デモ地域計画
2	デモ04...	北海		2			
3	デモ04...	北海		3			デモ地域計画